

2020年度第3四半期決算説明会 Appendix

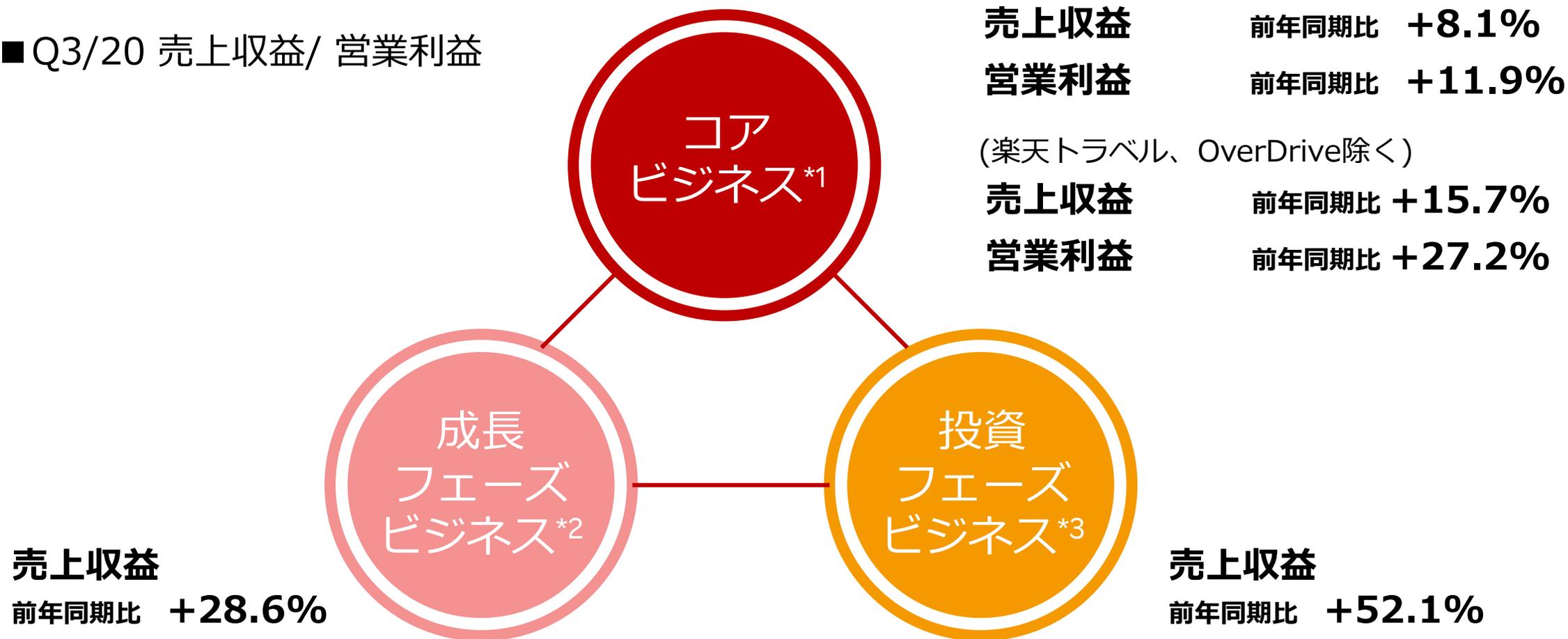
2020年11月12日
楽天株式会社



連結業績

将来の成長に向けた戦略

■ Q3/20 売上収益/ 営業利益



*1 楽天市場、楽天トラベル、Rakuten Rewards (Ebates)、楽天カード、楽天銀行、楽天生保等を含む

*2 C2C、ファースト・パーティー事業等を含む

*3 楽天モバイル、物流投資等を含む

Q3/20 売上収益と営業利益

(単位：十億円)

	Q3/19	Q3/20	YoY
コア事業 ^{*1}			
売上収益	254.3	274.9	+8.1%
営業利益	37.2	41.6	+11.9%
市場変動型等／投資事業 ^{*2}			
売上収益	29.8	32.9	+10.4%
営業利益	-0.3	4.2	+45億円
将来の成長に向けた先行投資型事業 ^{*3}			
売上収益	70.2	96.1	+36.9%
営業利益	-29.7	-76.3	-466億円
調整額			
売上収益	-35.1	-42.5	-74億円
営業利益	-1.0	1.9	+29億円
連結			
売上収益	319.1	361.4	+13.2%
Non-GAAP 営業利益	6.2	-28.7	-349億円
IFRS 営業利益	1.1	-39.8	-409億円

*1 楽天市場、楽天トラベル、Rakuten Rewards (Ebates)、楽天カード、楽天銀行、楽天生保等を含む

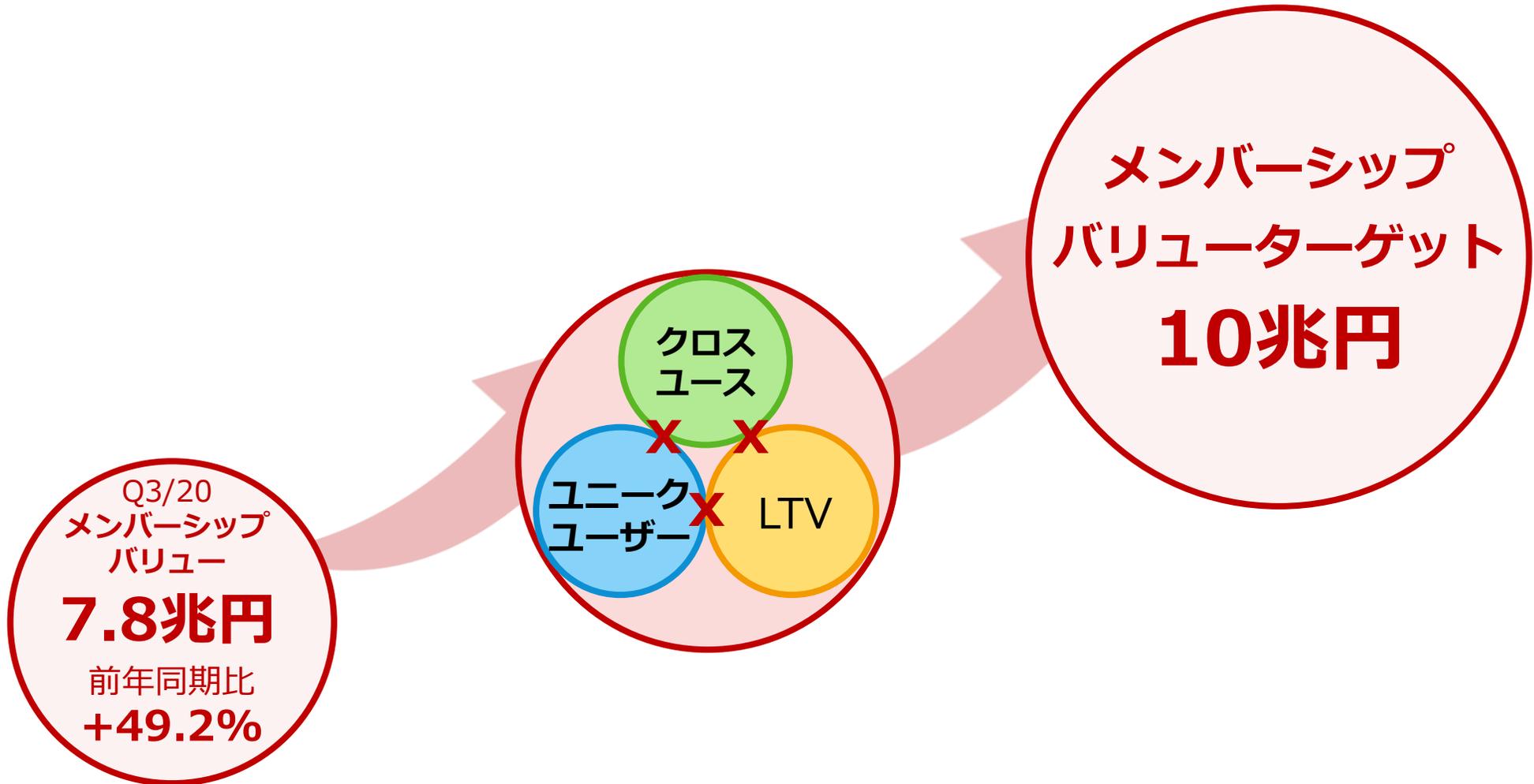
*2 楽天証券、楽天損保、投資事業を含む

*3 物流関連投資、楽天モバイル、ペイメント事業、NBA放映権、Rakuten Rewards (Ebates) リブランディング費用等を含む

*Q1/20より、楽天損保の売上収益計上方法変更等に伴い、一部数値を遡及修正

楽天エコシステムの超拡大

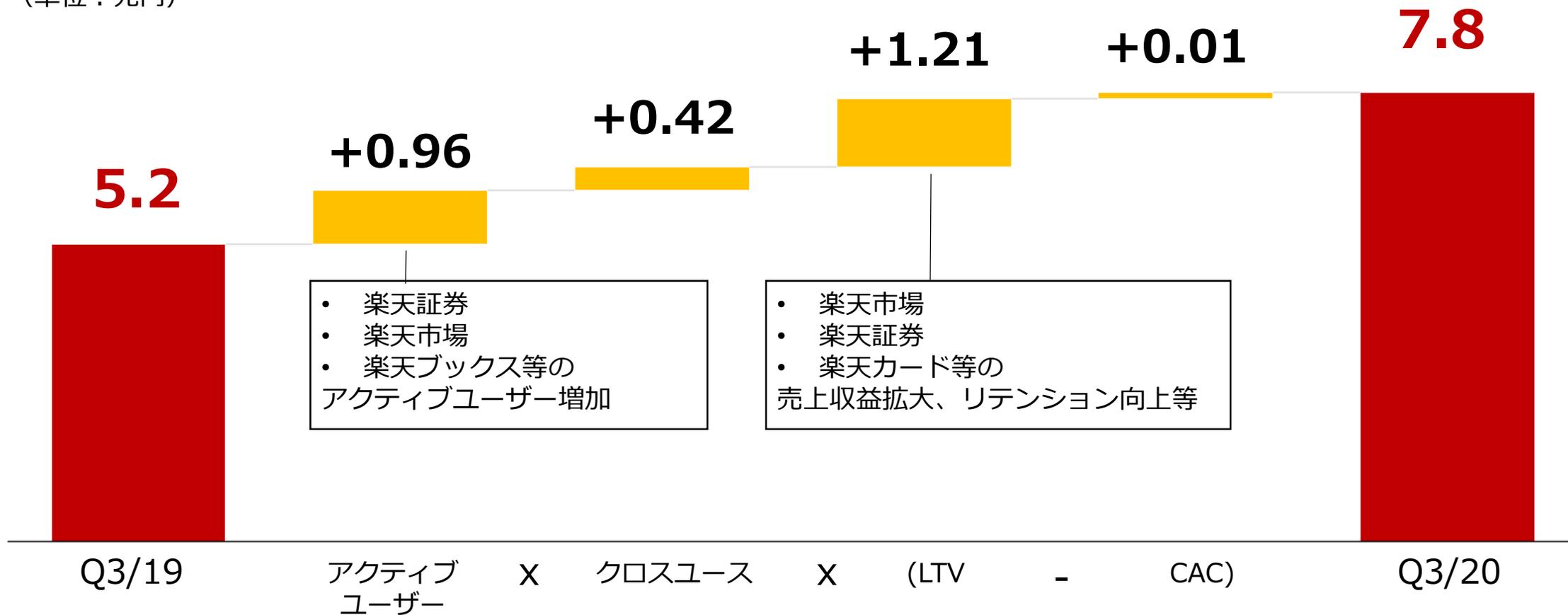
- メンバーシップバリューは目標の10兆円に向け順調に拡大



楽天エコシステムのメンバーシップバリュー

- メンバーシップバリューは新型コロナウイルスの影響による楽天市場、楽天証券、楽天カードのユーザー拡大と粗利が改善したことにより、前年同期比+49.2%と大幅に拡大

(単位：兆円)

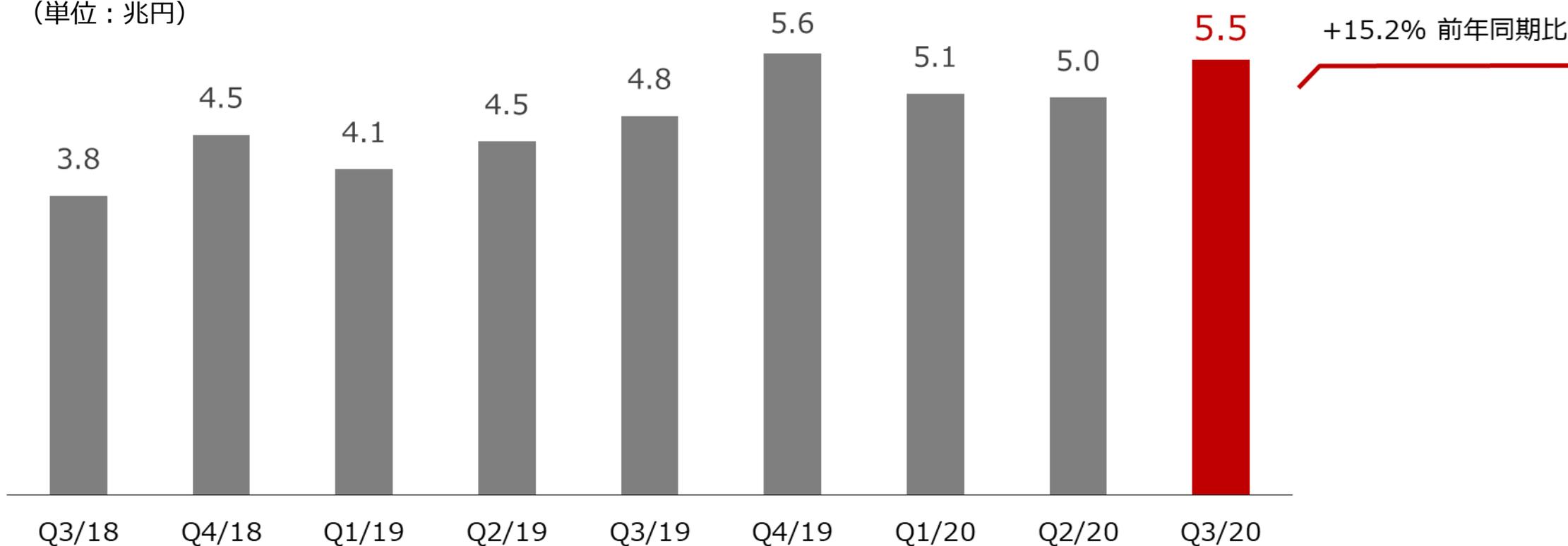


* MVNO事業の新規受付終了に伴い、一部メンバーシップバリューを除外

* ドイツのマーケットプレイスビジネスのクローズに伴い、一部メンバーシップバリューを除外

グローバル流通総額*1*2

(単位：兆円)

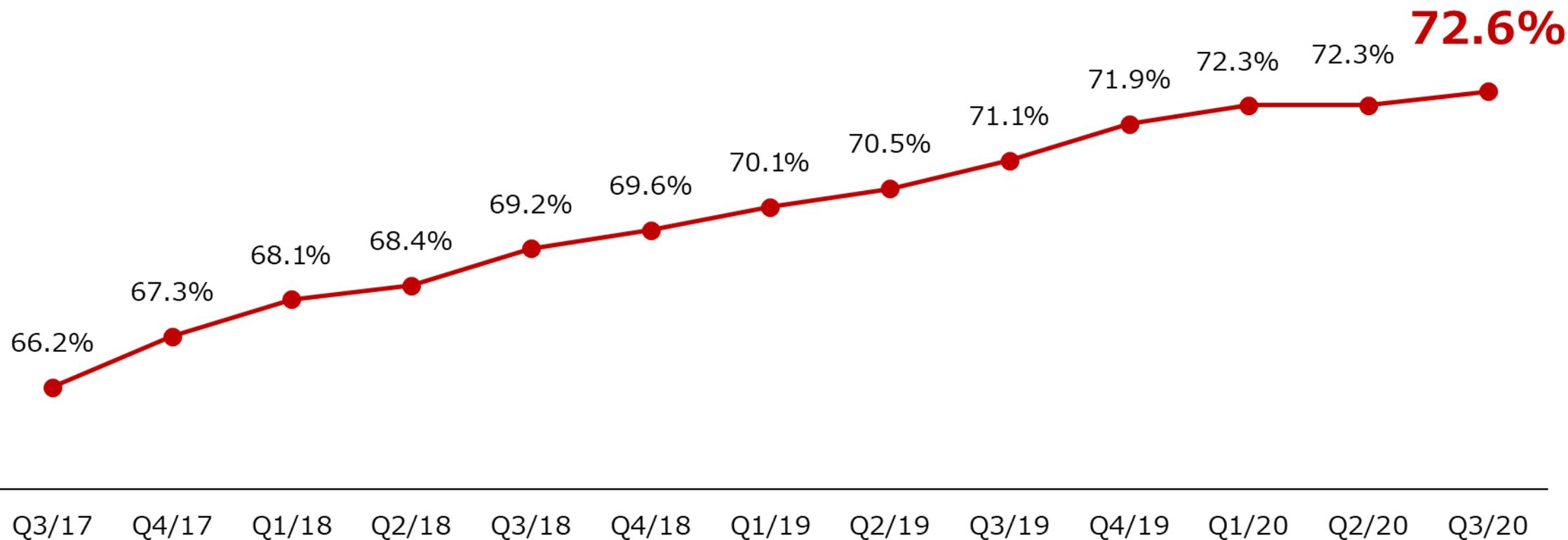


*1 グローバル流通総額 = 国内EC流通総額 + クレジットカードショッピング取扱高 + Edy決済取扱高 + 楽天ペイ決済取扱高 + 楽天ポイントカード取扱高 + 海外EC流通総額 + Rakuten Rewards (Ebates) 流通総額 + デジタルコンテンツ取扱高 + 楽天マーケティング取扱高

*2 決済・アフィリエイトサービスには、楽天グループ内取引を含む

クロスユース率*の拡大

- SPU等の施策により、クロスユースは堅調に推移。アクティブユーザーの増加に伴いメンバーシップバリューが拡大



* 過去12か月間における2サービス以上利用者数／過去12か月間における全サービス利用者数 (2020年6月末時点)
(楽天ポイントが獲得可能なサービスの利用に限る)

Q3/20 売上収益と営業利益

(単位：十億円)

		Q3/19	Q3/20	前年同期比
国内EC	売上収益	127.4	149.2	+17.2%
	営業利益	15.1	15.2	+0.9%
その他*	売上収益	74.6	65.1	-12.8%
	営業利益	-9.9	-10.2	-3億円
インターネットサービスセグメント				
	売上収益	201.9	214.3	+6.1%
	営業利益	5.2	5.0	-3.1%
フィンテックセグメント				
	売上収益	121.4	144.0	+18.5%
	営業利益	16.5	22.3	+34.9%
モバイルセグメント				
	売上収益	30.9	45.7	+47.9%
	営業利益	-14.5	-57.9	-433億円
調整額				
	売上収益	-35.1	-42.5	-74億円
	営業利益	-1.0	1.9	+29億円
連結				
	売上収益	319.1	361.4	+13.2%
	Non-GAAP 営業利益	6.2	-28.7	-349億円
	IFRS 営業利益	1.1	-39.8	-409億円

*Q2/20に、OverDrive Holdings, Inc.の全株式を譲渡したことに伴い、Q3/20より同社の損益を除外
Q3/19に計上された同社の利益を除くと「その他」セグメントの営業利益は前年同期比で増加

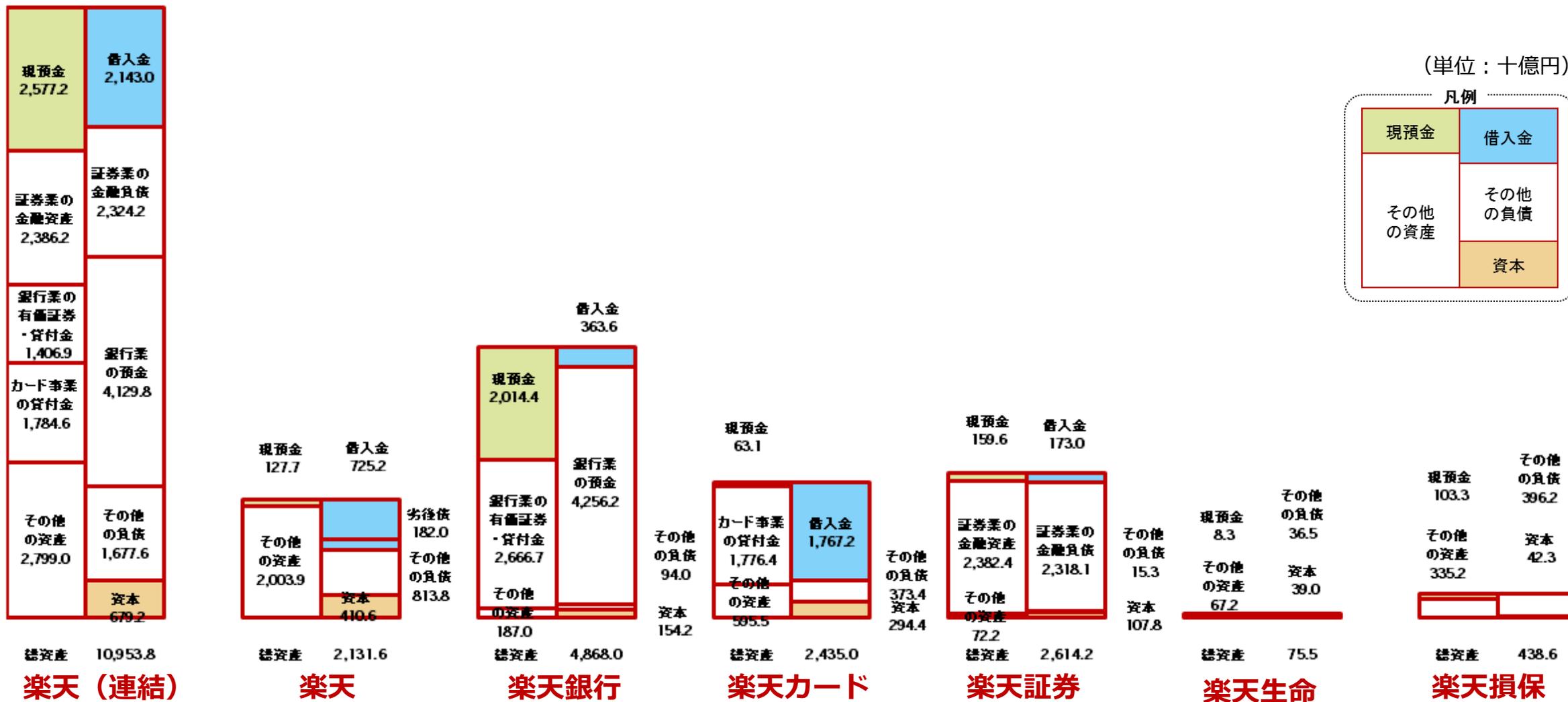
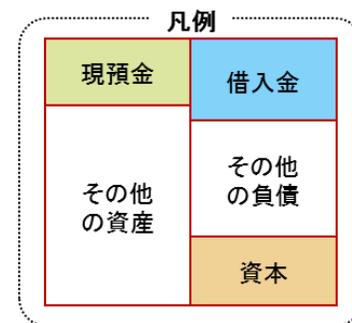
Q3/20 Non-GAAP營業利益調整額

(單位：十億円)

	Q3/19	Q3/20	前年同期比
Non-GAAP營業利益	6.2	-28.7	-349億円
無形資産償却費 (PPA)	-2.2	-2.6	-4億円
株式報酬費用	-2.9	-2.4	+5億円
非經常的な項目	-0.0	-6.1	-61億円
IFRS營業利益	1.1	-39.8	-409億円

楽天グループのバランスシート概要 (2020年9月末) *子会社は内部取引を含む

(単位：十億円)



*1 楽天、楽天銀行、楽天カード、楽天証券、楽天生命、楽天損保はIFRSに準拠した単独決算の数値

*2 借入金 = 社債 + CP + 借入金

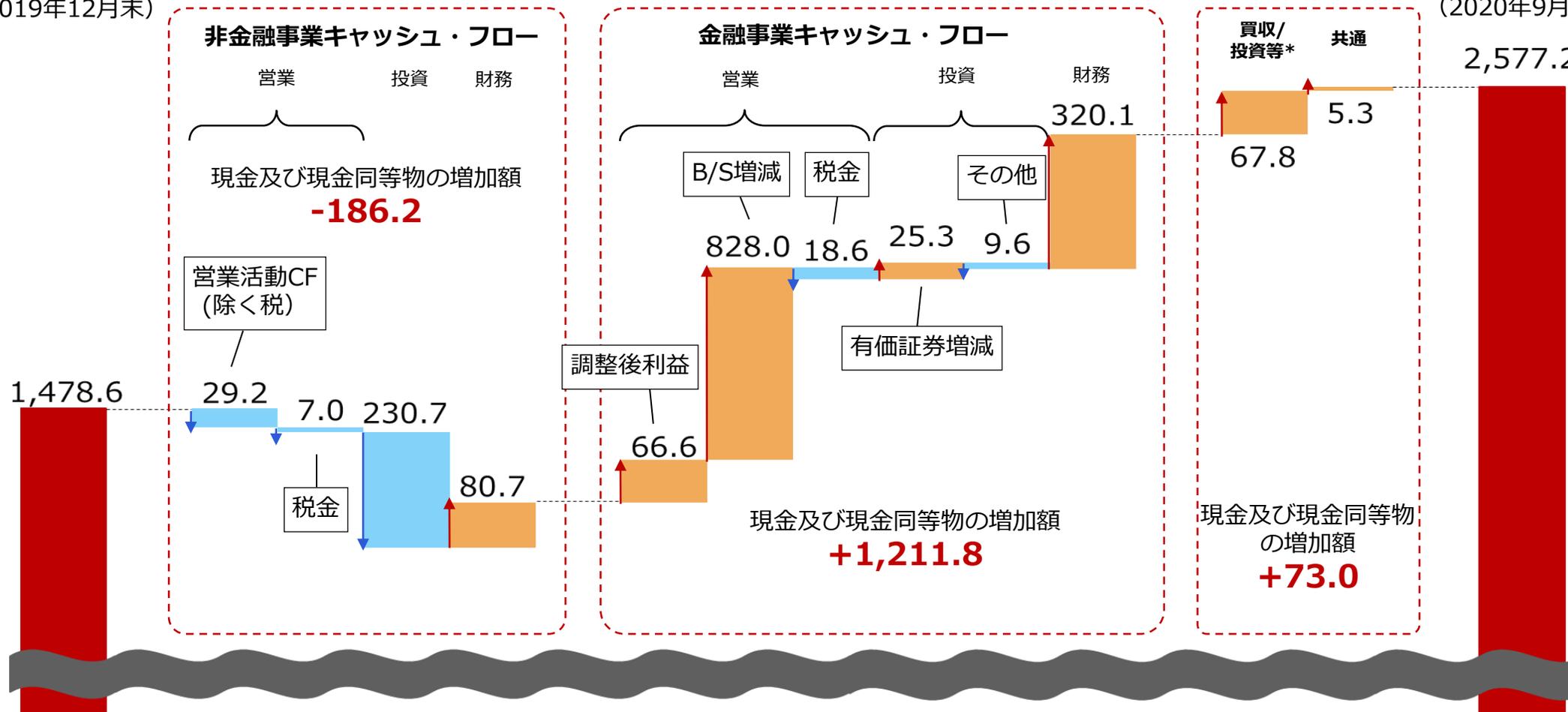
*3 子会社は内部取引を含む

キャッシュ・フローの状況 (2020年1月 - 9月)

(単位：十億円)

期首現預金残高
(2019年12月末)

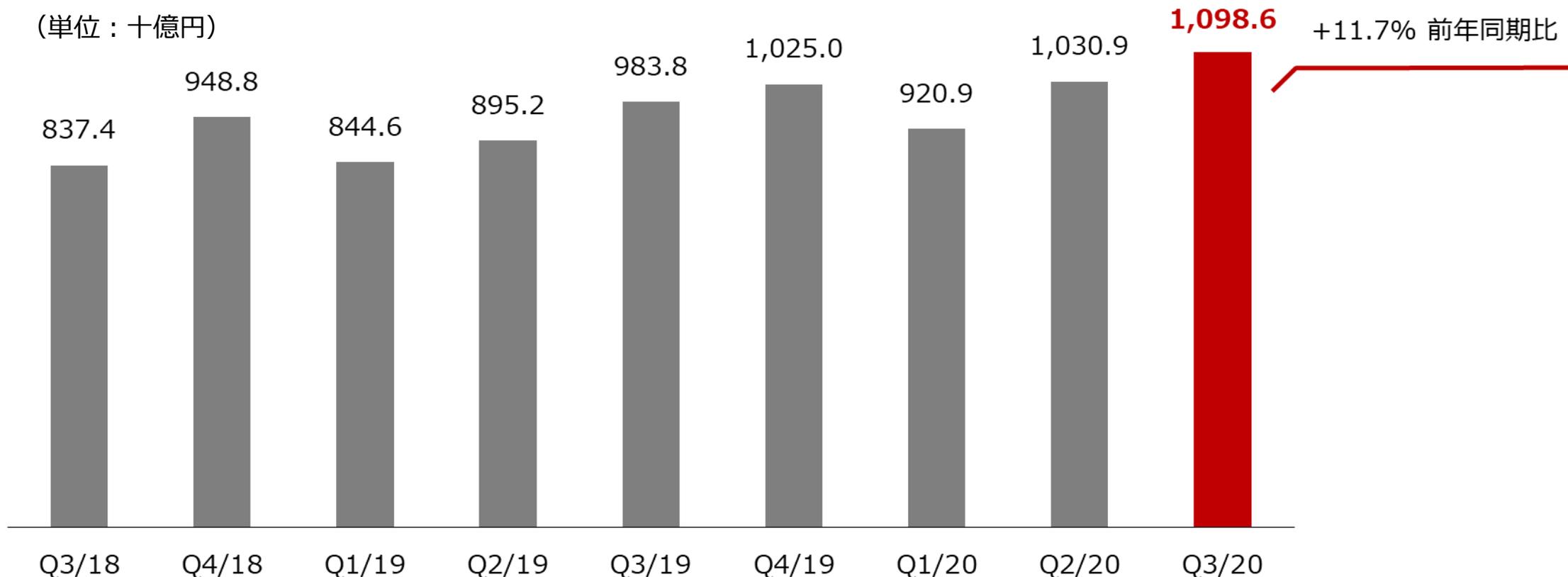
期末現預金残高
(2020年9月末)



* 買収、投資等には、「子会社の取得による収入、支出」の他、非金融における「拘束性預金の戻入による収入、支出」、「有価証券の取得による支出」及び「有価証券の売却及び償還による収入」が含まれます

インターネットサービスセグメント

国内EC 流通総額*1*2



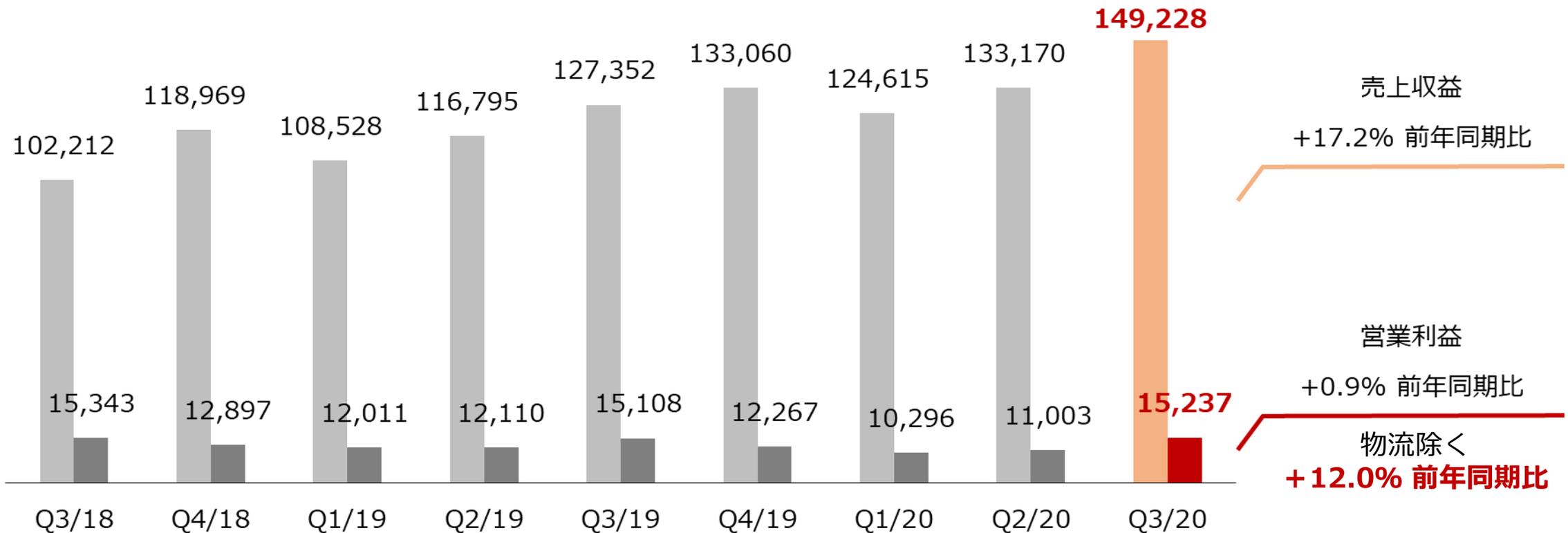
*1 国内EC流通総額（一部の非課税ビジネスを除き、消費税込み）＝市場、トラベル（宿泊流通）、ブックス、ゴルフ、チケット、ファッション、ドリームビジネス、ビューティ、デリバリー、楽天24（ダイレクト）、オートビジネス、ラクマ、Rebates、楽天西友ネットスーパー等の流通額の合計

*2 一部事業において内部取引消去を行ったため、数値を遡及修正

国内EC 四半期業績推移*

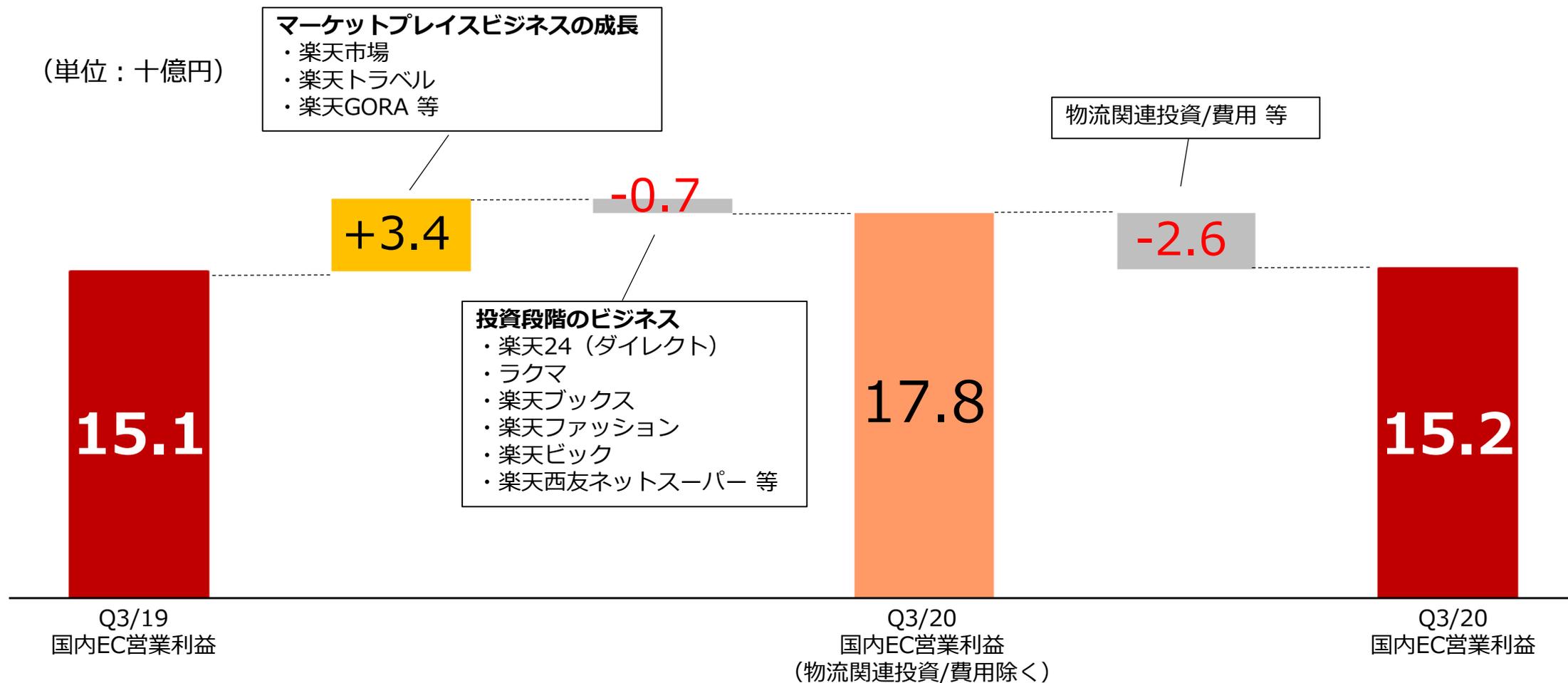
- 市場等のEC事業が牽引し、売上高は前年同期比+17.2%と力強く成長。営業利益は物流投資があったもののトラベル事業の改善等でプラス成長。物流事業を除いた営業利益は前年同期比+12.0%となった

(単位：百万円)



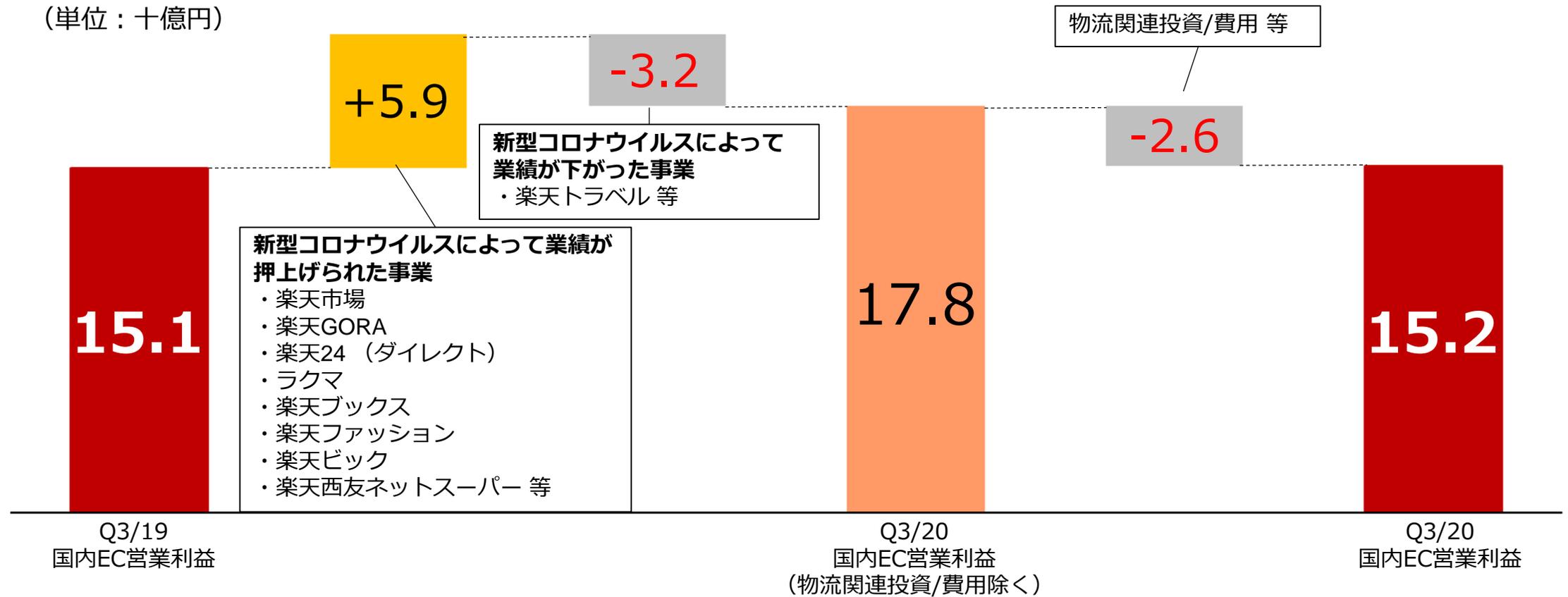
*国内EC=市場、トラベル、ボックス、ゴルフ、チケット、ファッション、ドリームビジネス、ビューティ、デリバリー、楽天24(ダイレクト)、物流、オートビジネス、ラクマ、Rebates等

Q3/20 国内EC営業利益詳細



Q3/20 国内EC営業利益詳細

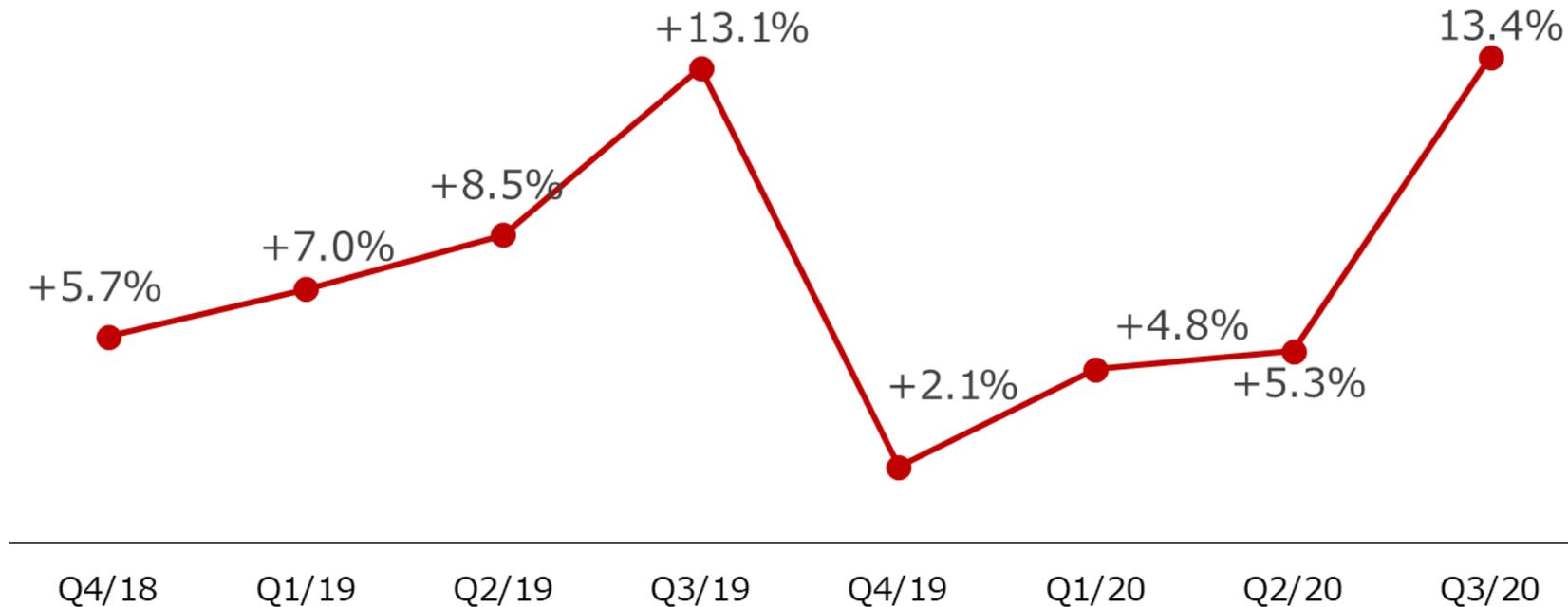
(単位：十億円)



国内EC マーケットプレイスビジネス* 営業利益 前年比推移

- マーケットプレイスビジネスの営業利益は楽天市場の成長、そして楽天トラベルと楽天GORAの改善により力強く成長

(前年同期比)



* マーケットプレイスビジネス=市場、トラベル、ゴルフ、ドリームビジネス等

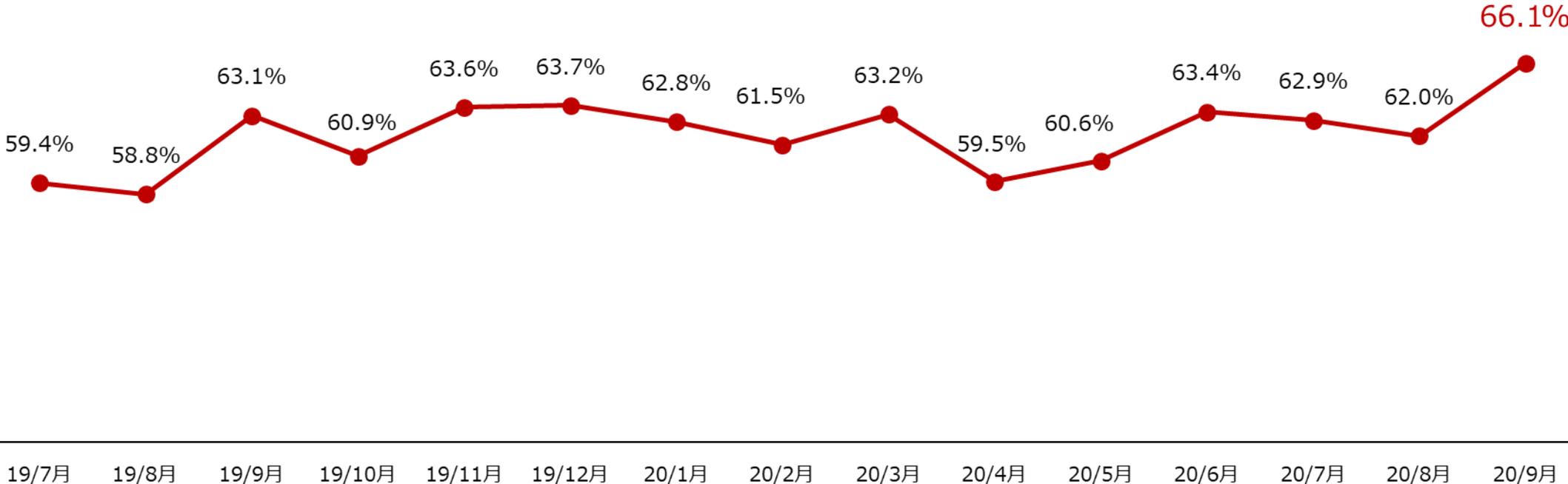
Q3/20 楽天市場モバイル流通総額比率*

77.0%

+3.0ポイント 前年同期比

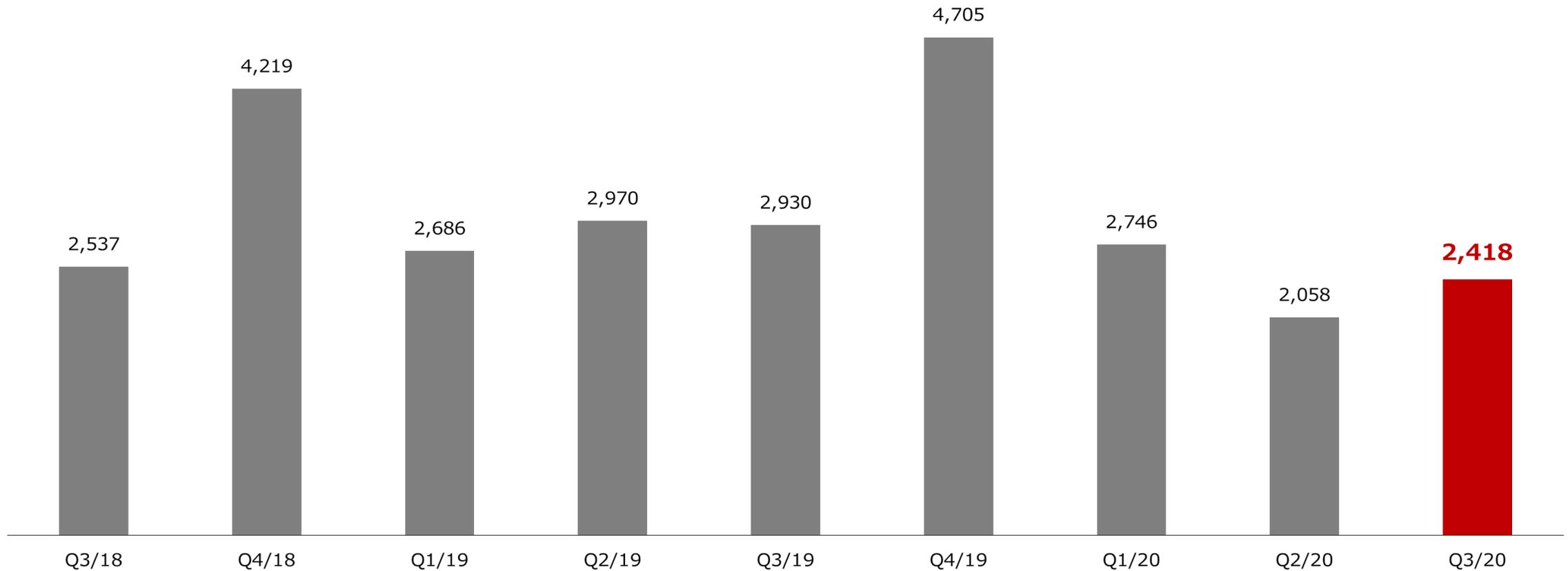
*モバイル流通総額比率 = 楽天市場モバイル流通総額 / 楽天市場流通総額合計 (スマートフォン、タブレットを含む)

楽天市場流通総額における楽天カード決済比率

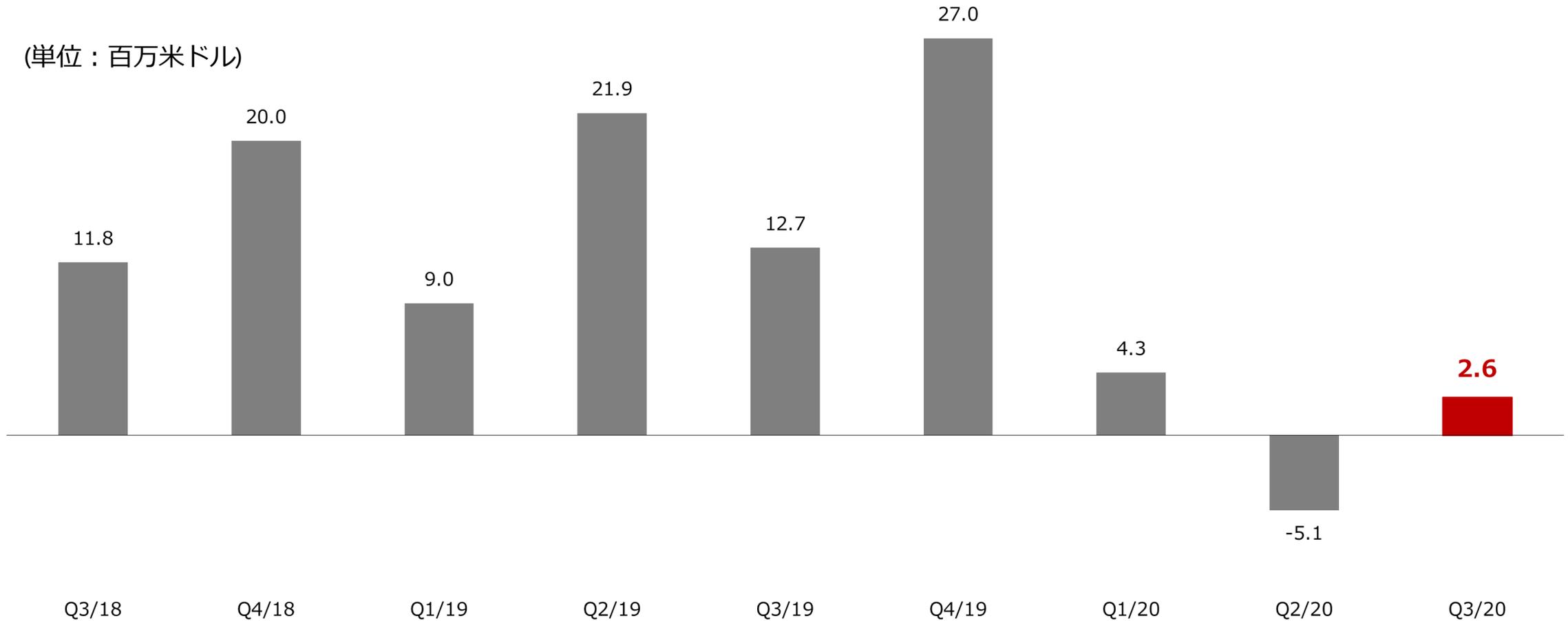


Rakuten Rewards (Ebates) 流通総額

(単位：百万米ドル)



Rakuten Rewards (Ebates) 営業利益推移*1*2

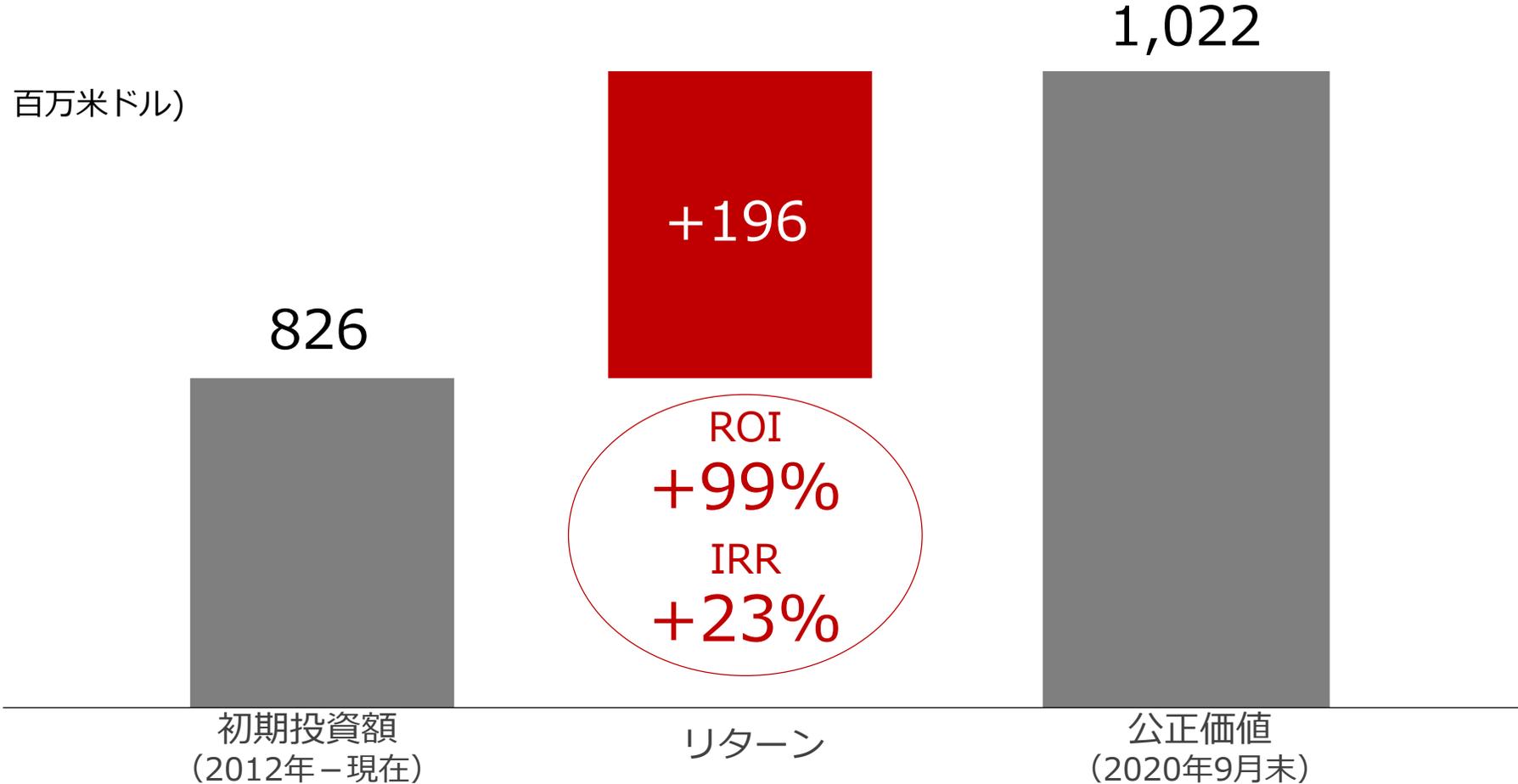


*1 リブランディング費用36.3百万米ドル(Q1/19)、30.4百万米ドル(Q2/19)、20.4百万米ドル(Q3/19)、27.4百万米ドル(Q4/19)、5.2百万米ドル(Q1/20)、5.1百万米ドル(Q2/20)、及び6.3百万米ドル(Q3/20)を除く

*2 社内における配賦費用の付け替え等に伴い営業利益を変更しており、過去の営業利益も遡及修正済み

投資事業のパフォーマンス*

(単位：百万米ドル)



*Lyftと楽天メディカルは、インキュベーションビジネスへの移管によりポートフォリオには含まないが、エグジットした投資としてリターンには含む

*Lyftと楽天メディカルを除いたリターン：ROI +69%、IRR +14%

投資事業ポートフォリオ

インターネット

SHOPBACK

 carousell



frOm scratch

epic!

 OneSignal

ライドシェア

Careem

Glovo[!]

lyft^{*}

(アセットファイナンス)

 gojek

 cabify

フィンテック

 BlueVine

 Upstart

TORANOTEC

ヘルスケア

Rakuten Medical^{*}
(関連会社)

 airweave

Genesis Healthcare

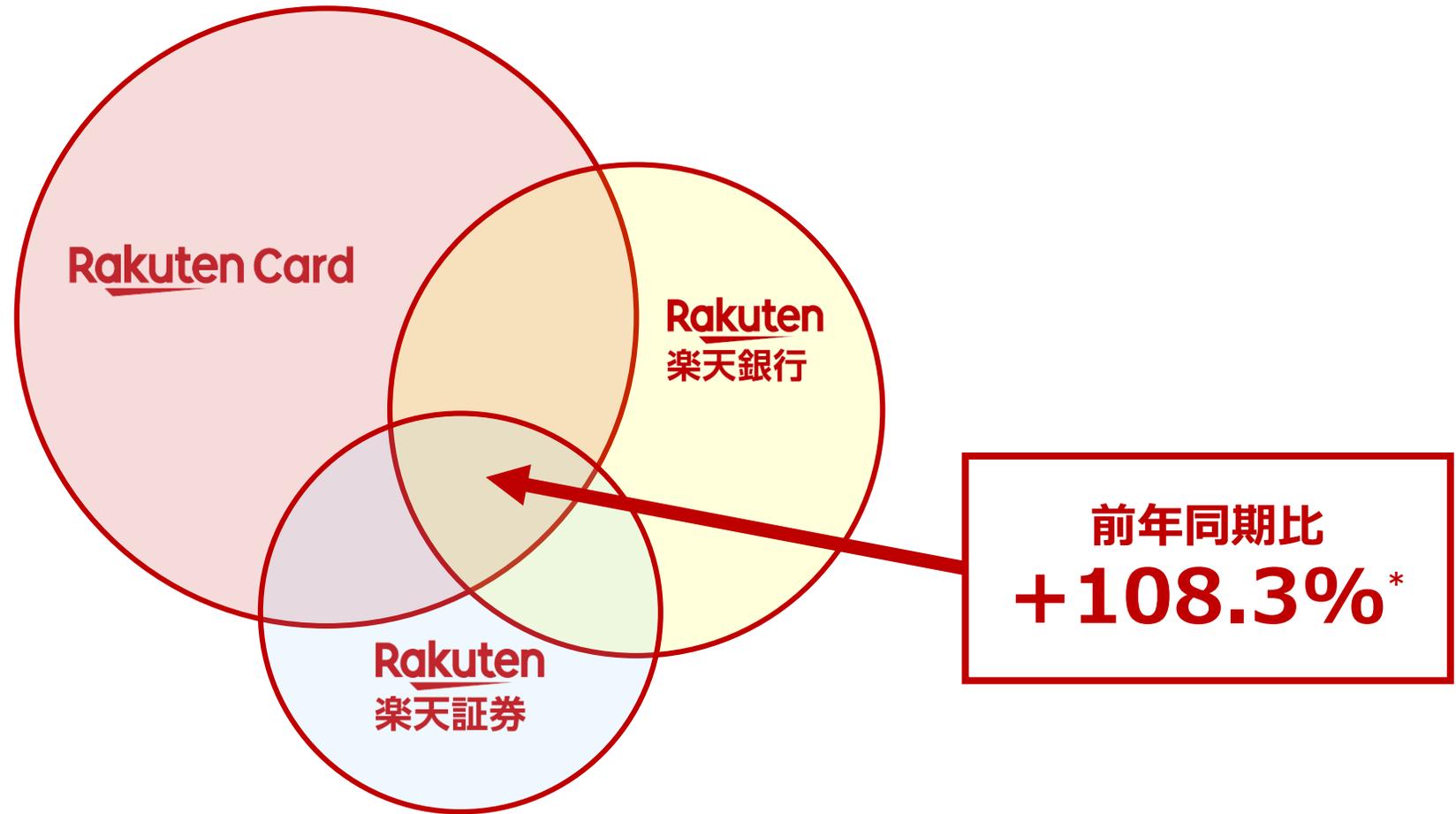
* Lyftおよび楽天メディカルは、それぞれ2019年4月と9月に投資事業から移管、アセットファイナンス（Lyft）と戦略的投資（楽天メディカル）に変更

フィンテックセグメント

フィンテック事業間のクロスユース事例

- フィンテックサービス間のクロスユースは飛躍的に拡大

(ユニークユーザー数)



*2020年9月時点

*Q3/20よりクロスユースの集計方法を変更

Q3/20 フィンテックセグメント業績サマリー

(単位：十億円)

	売上収益	前年同期比	営業利益	前年同期比
楽天カード	64.9	+11.7%	11.5	+37.5%
楽天銀行	23.7	+5.8%	6.7	-0.2%
保険事業	26.8	+6.7%	1.8	+23.8億円
楽天ペイメント	8.2	+12.5%	-1.7	-6.5億円
その他	1.5	+72.5億円	-0.4	-3.7億円
フィンテック 合計（楽天証券除く）	125.2	+16.8%	17.9	+33.5%
楽天証券	18.8	+31.8%	4.4	+40.6%
フィンテック 合計	144.0	+18.5%	22.3	+34.9%

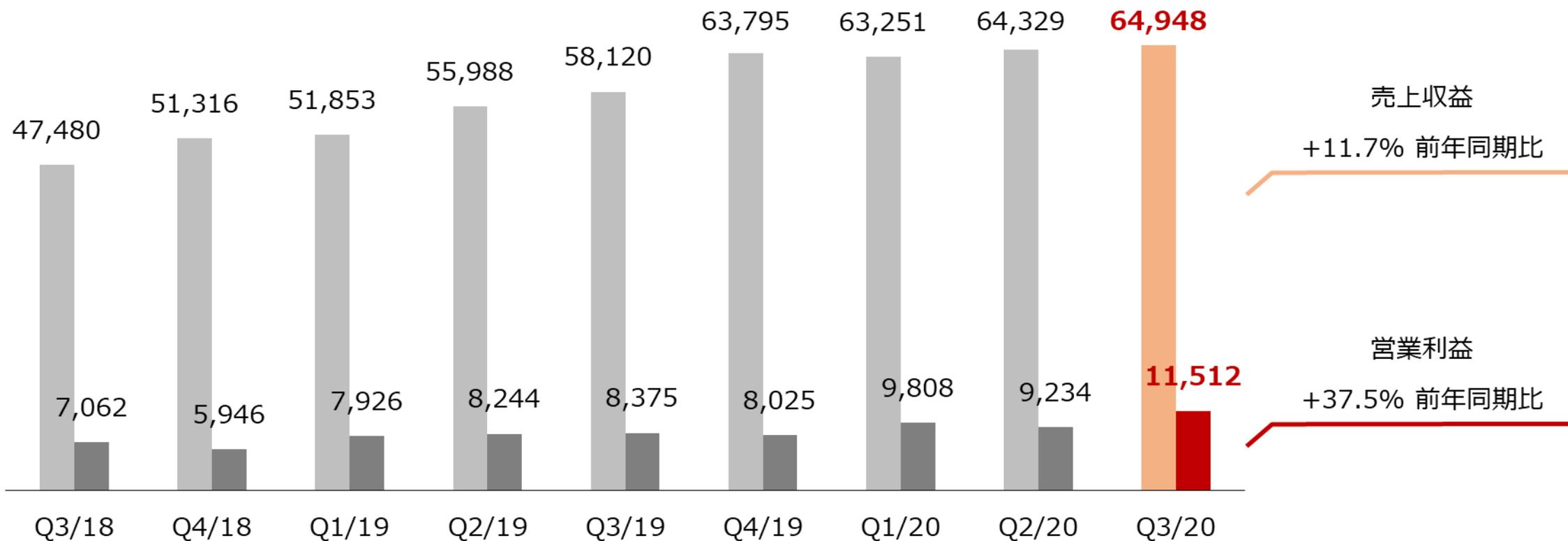
* 保険事業は生命保険、損害保険、ペット保険、保険代理店を含む。詳細なデータは参考資料に掲載。

* 楽天銀行：Q2/20に台湾における現地合併会社（楽天国際商業銀行股份有限公司）を連結子会社化。上記PLには含まない。

楽天カード 四半期業績推移

- ショッピング取扱高の拡大及び貸倒繰入額の取り崩しやコスト抑制等により、売上収益は前年同期比+11.7%、営業利益は前年同期比+37.5%を達成

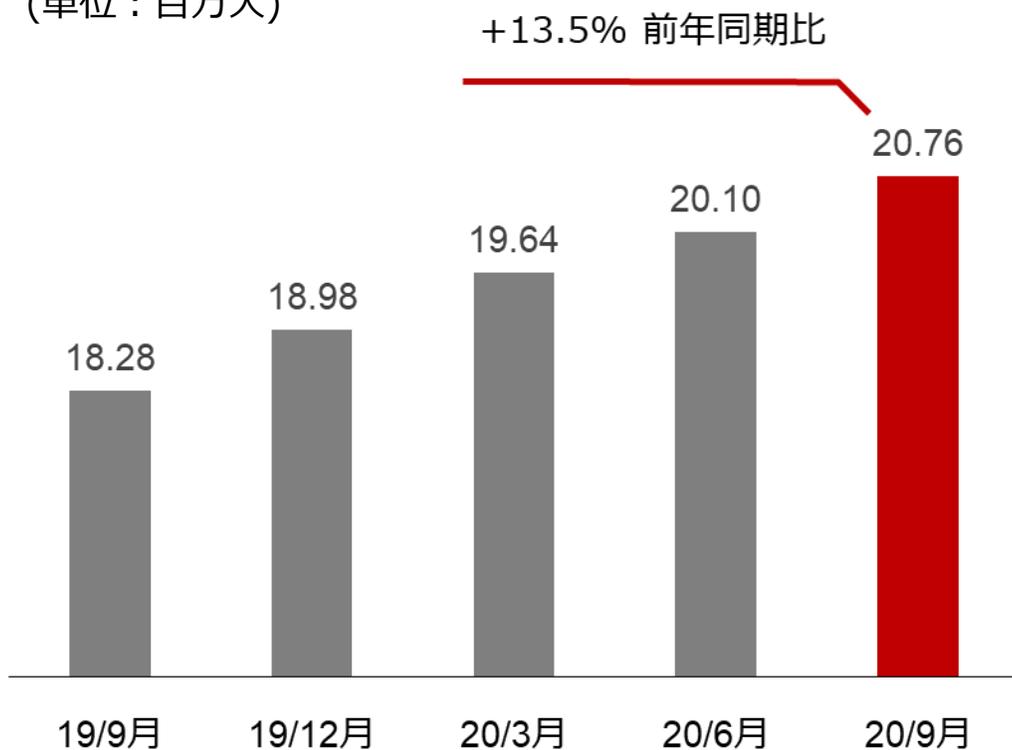
(単位：百万円)



楽天カード 経営指標* (1)

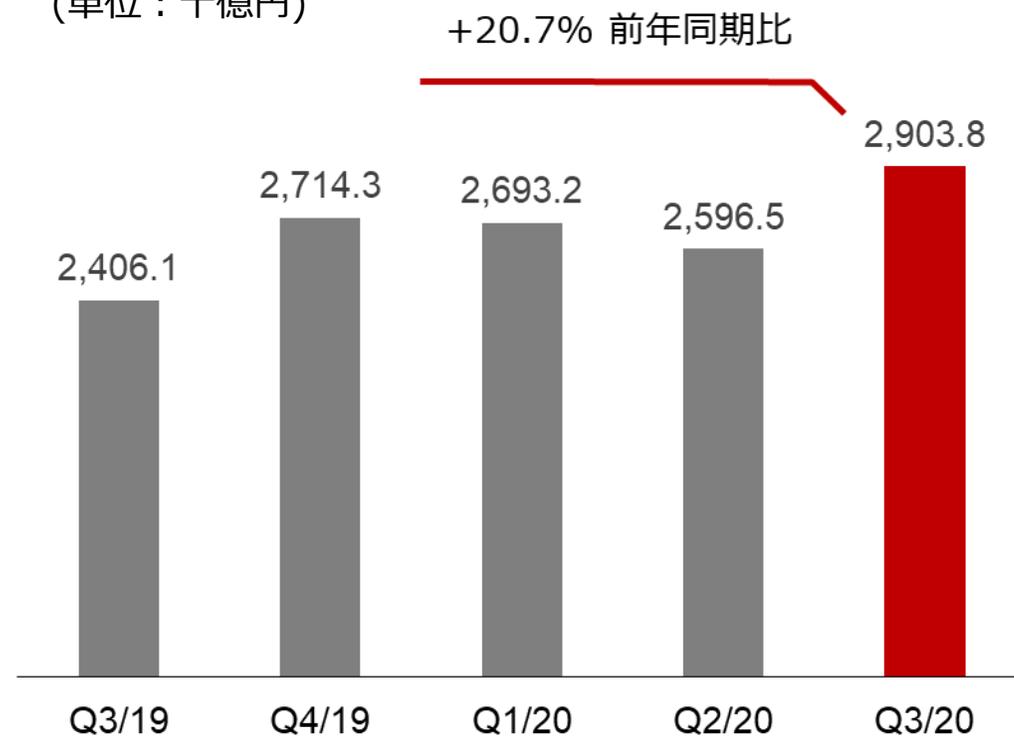
カード会員数

(単位：百万人)



ショッピング取扱高

(単位：十億円)

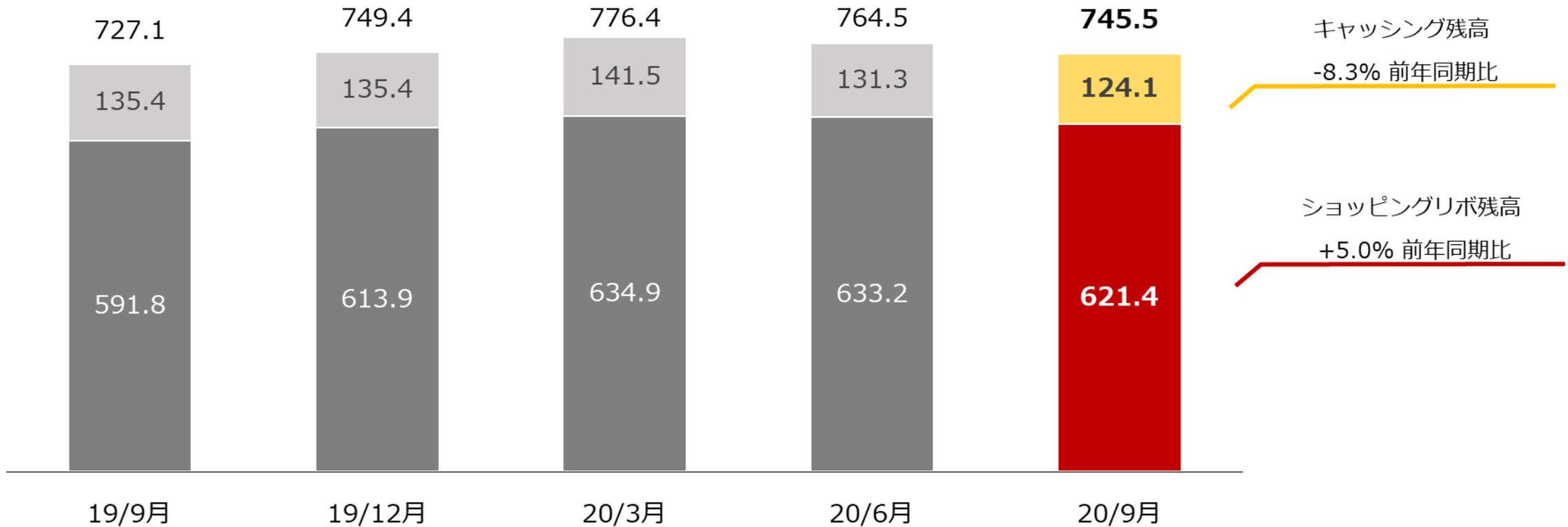


* 管理会計ベース。参考資料とは異なる定義。その他のクレジットカードの数値は参考資料に掲載。

楽天カード 経営指標* (2)

(単位：十億円)

ショッピングリボ残高及びキャッシング残高



* 管理会計ベース。参考資料とは異なる定義。その他のクレジットカードの数値は参考資料に掲載。リボ残高は元本ベース

楽天カード 貸倒関連比率

(単位：百万円)

	Q3/19	Q4/19	Q1/20	Q2/20	Q3/20	前年同期比
貸倒関連費用	10,326	11,528	9,842	11,809	8,950	-13.3%
貸倒関連費用比率 ^{*1}	2.05%	2.13%	1.77%	2.15%	1.63%	-

	Q3/19	Q4/19	Q1/20	Q2/20	Q3/20	前年同期比
楽天カード	1,683,025	1,874,061	1,802,438	1,831,263	1,839,869	+9.3%
ステージ1 (正常)	1,605,403	1,794,230	1,717,959	1,741,588	1,750,887	+9.1%
ステージ2 (未収1~2ヶ月)	11,207	11,408	13,451	11,745	11,633	+3.8%
ステージ3 (未収3ヶ月以上/貸出条件緩和債権)	66,415	68,423	71,027	77,930	77,349	+16.5%
楽天銀行保証	388,316	384,469	385,680	371,907	359,857	-7.3%
ステージ1 (正常/信用保証債務残高 ^{*2})	348,932	345,922	347,551	333,715	323,023	-7.4%
ステージ2 (遅延30日以上/信用保証債務残高 ^{*2})	212	127	135	83	127	-40.1%
ステージ3 (求償債権)	39,172	38,420	37,994	38,109	36,707	-6.3%
その他	1,144	1,065	1,010	963	934	-18.4%
債権残高・保証残高 合計	2,072,485	2,259,594	2,189,128	2,204,133	2,200,660	+6.2%
引当金残高 ^{*3}	93,504	94,265	95,109	99,504	96,898	+3.6%
貸倒償却額 ^{*4}	8,002	10,766	8,999	7,416	11,561	+44.5%

*1 貸倒関連費用比率 = 貸倒関連費用 ÷ 債権残高・保証残高合計の期首期末平均 × 4

*2 楽天銀行における楽天銀行スーパーローン残高のうち、楽天カードが信用保証する残高

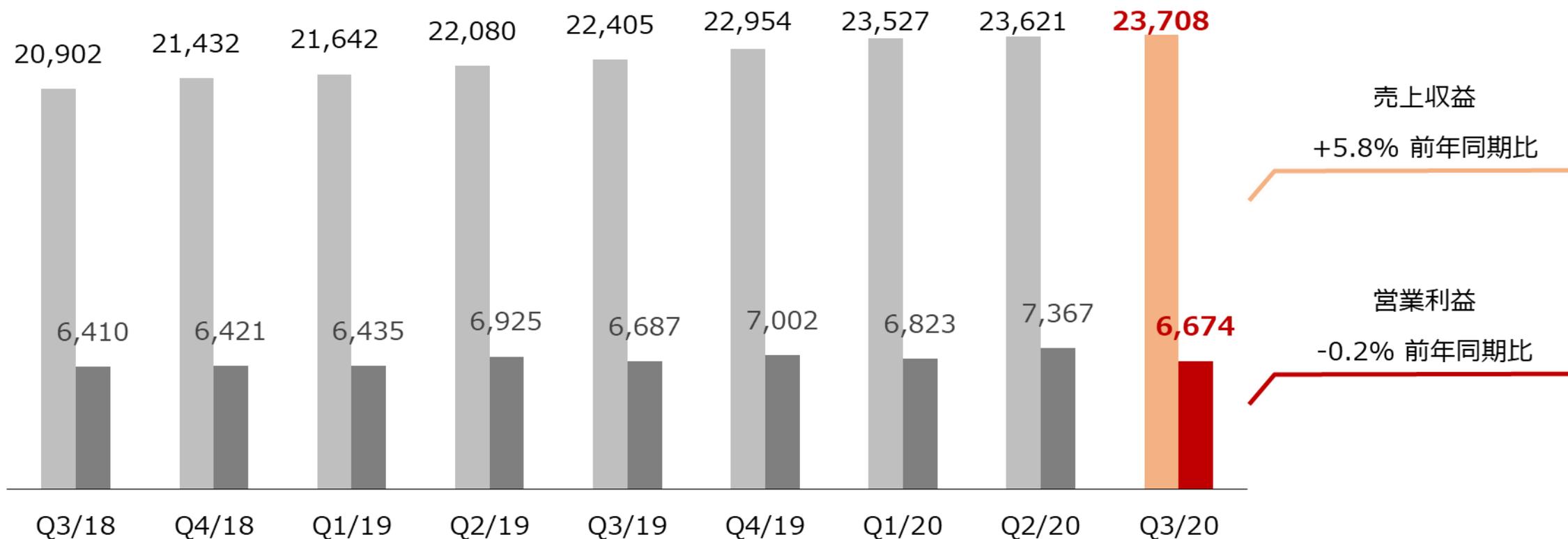
*3 債務保証損失引当額を含む

*4 貸倒償却には債権譲渡損を含む

楽天銀行 四半期業績推移

- 役務取引等の増加により、売上収益は前年同期比+5.8%、営業利益は本社移転に伴う費用増により、前年同期比-0.2%となった

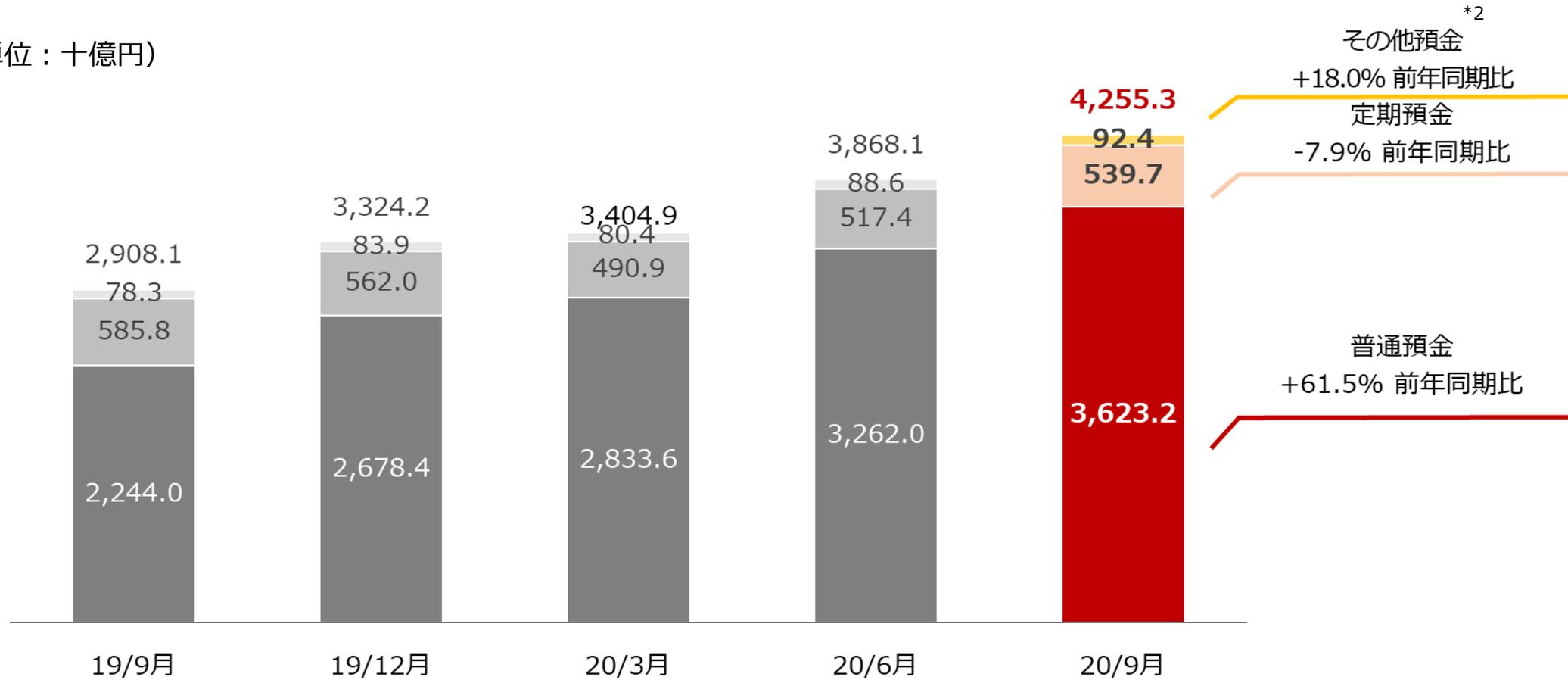
(単位：百万円)



* Q2/20に台湾における現地合併会社（楽天国際商業銀行股份有限公司）を連結子会社化。上記PLには含まない。

楽天銀行 預金残高推移*1

(単位：十億円)

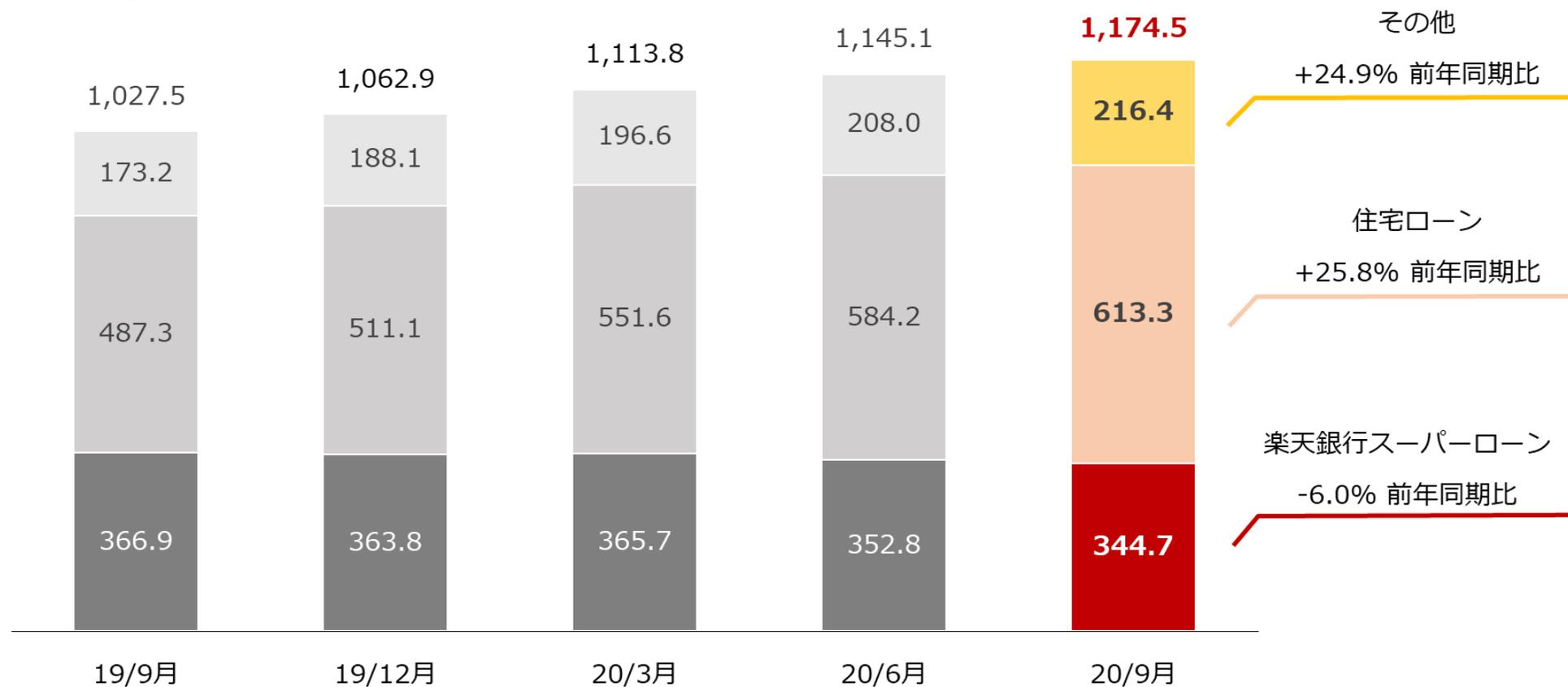


*1 預金残高はIFRSベース（定期預金は、特約定期預金のデリバティブを含む）。楽天銀行連結ベース

*2 その他預金には別段預金その他、外貨預金等を含む

楽天銀行 貸出金残高推移

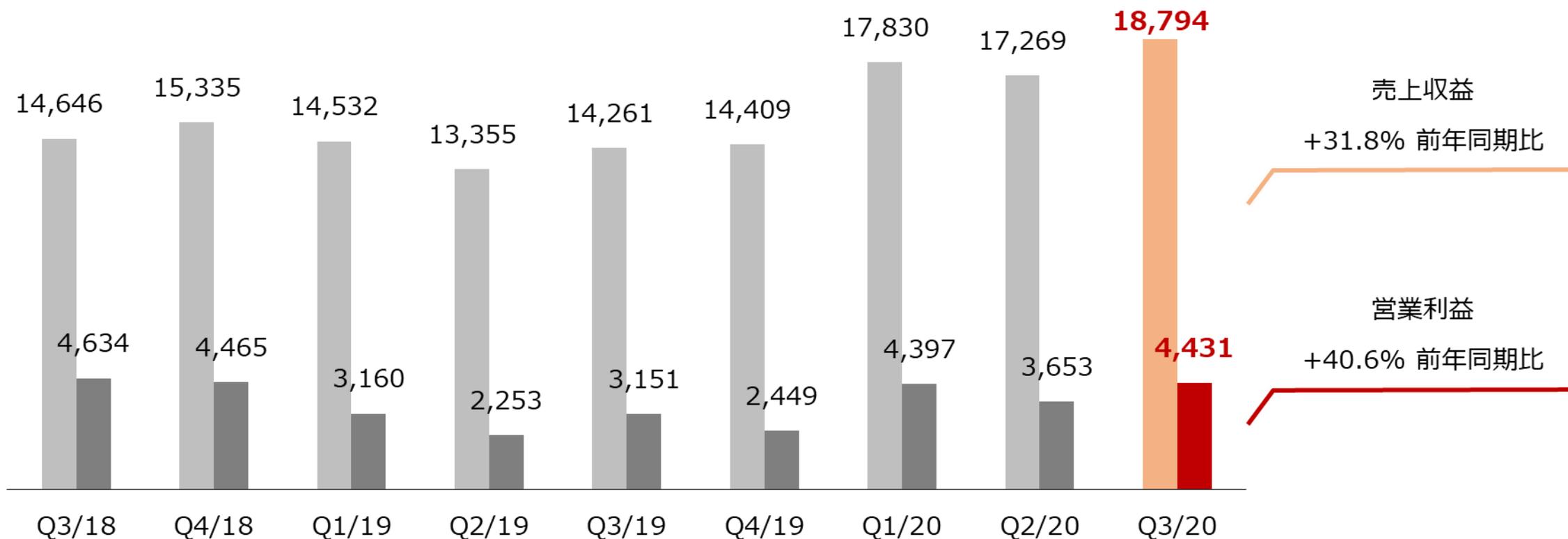
(単位：十億円)



楽天証券 四半期業績推移

- 国内株式及び米国株式の取引量増加により、売上収益は前年同期比+31.8%、営業利益は前年同期比+40.6%

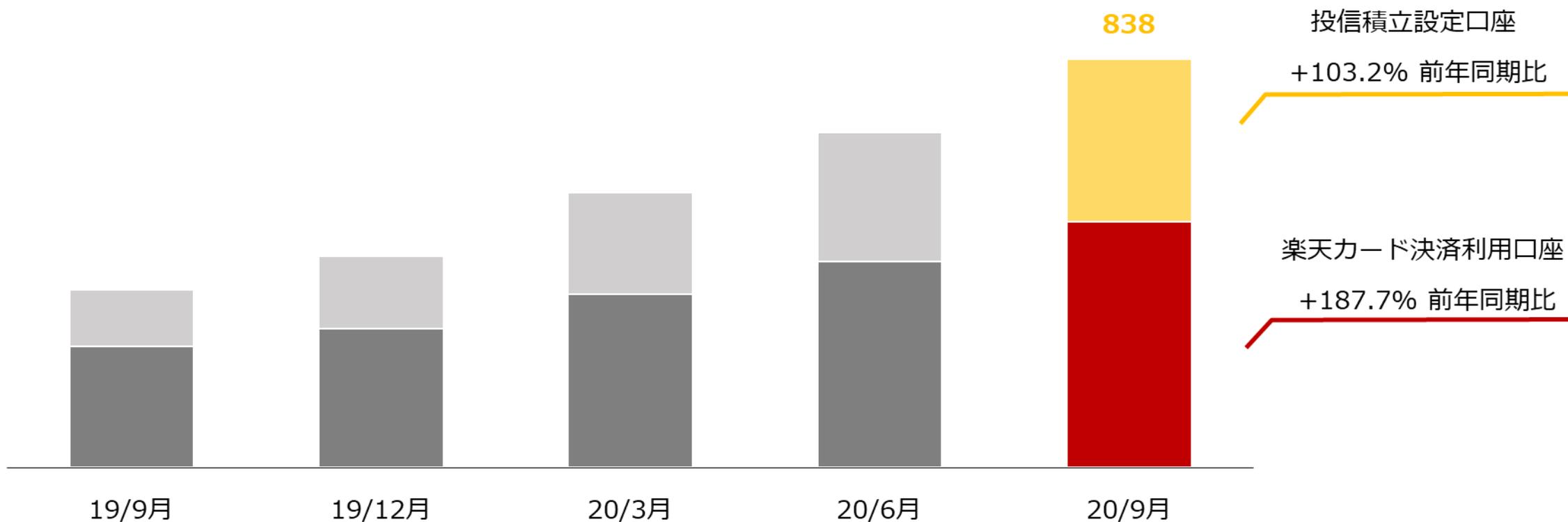
(単位：百万円)



楽天証券 投信積立口座数の増加

- 積立投信の楽天カード決済でのポイント付与やポイント投資等の施策により、投信積立設定口座数、楽天カードによる支払いが増加

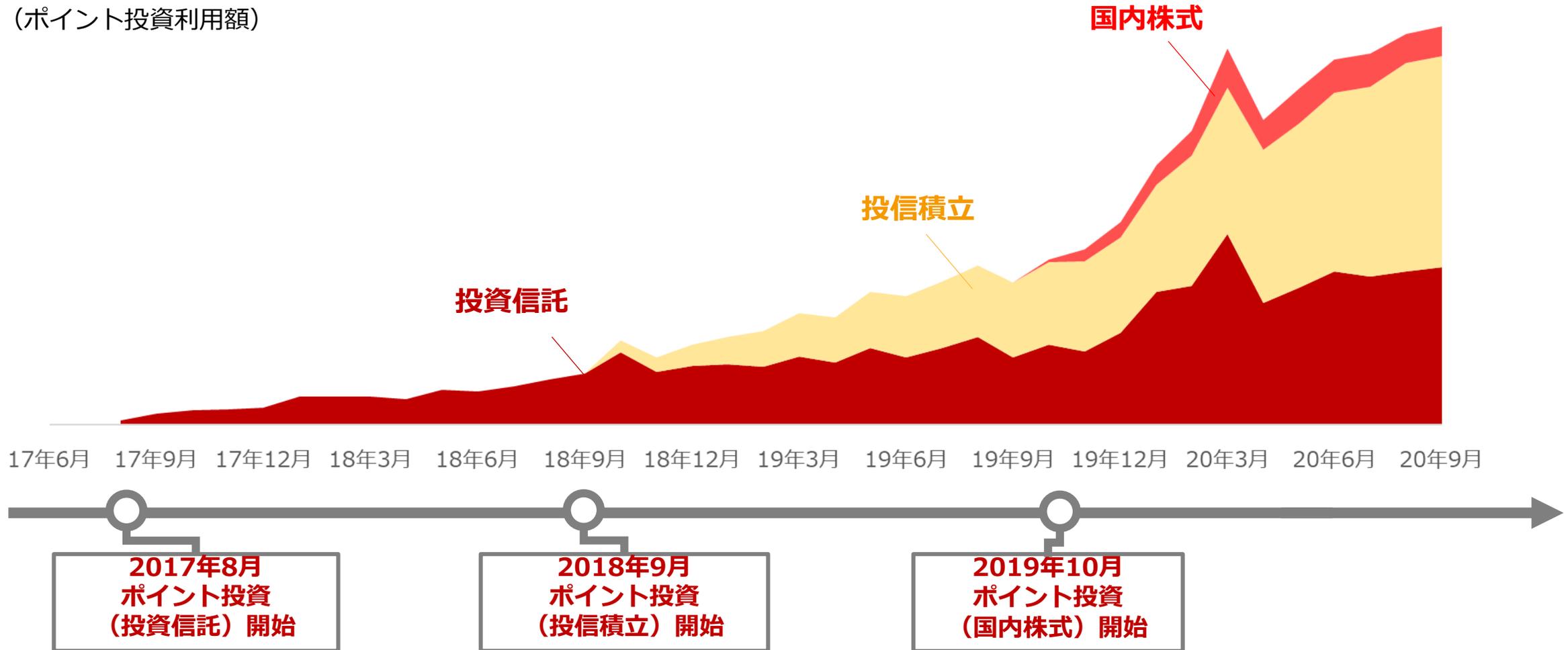
(単位：千口座)



楽天証券 ポイント投資

■ ポイント投資利用額は堅調に増加

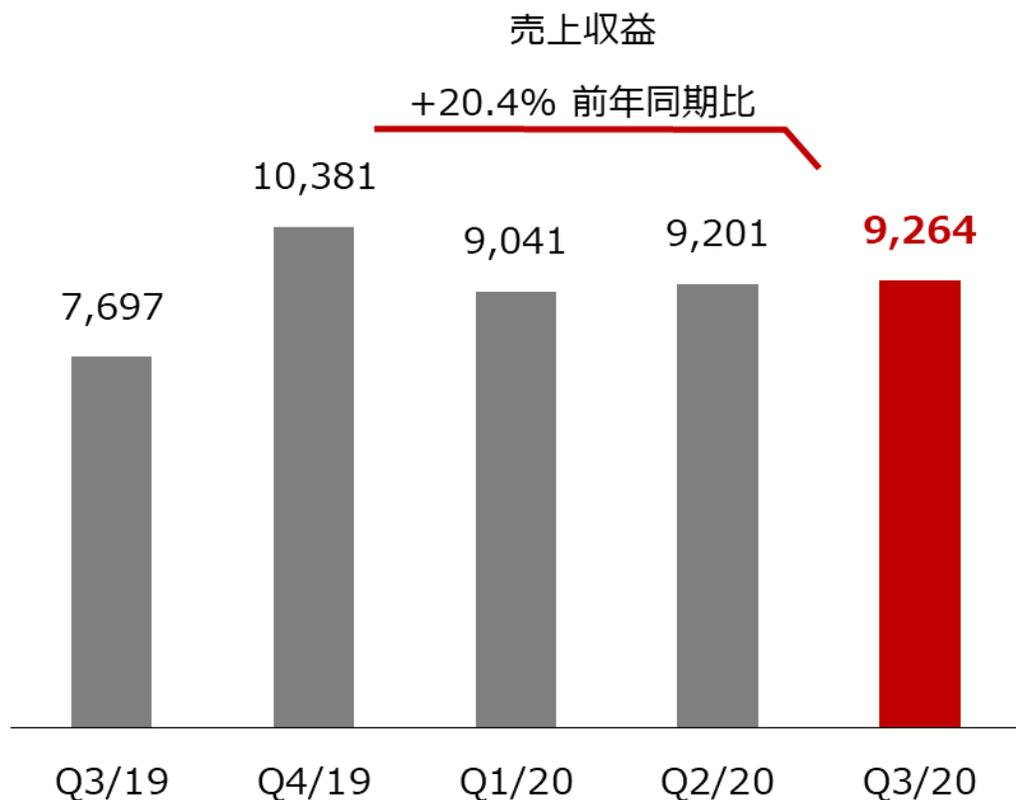
(ポイント投資利用額)



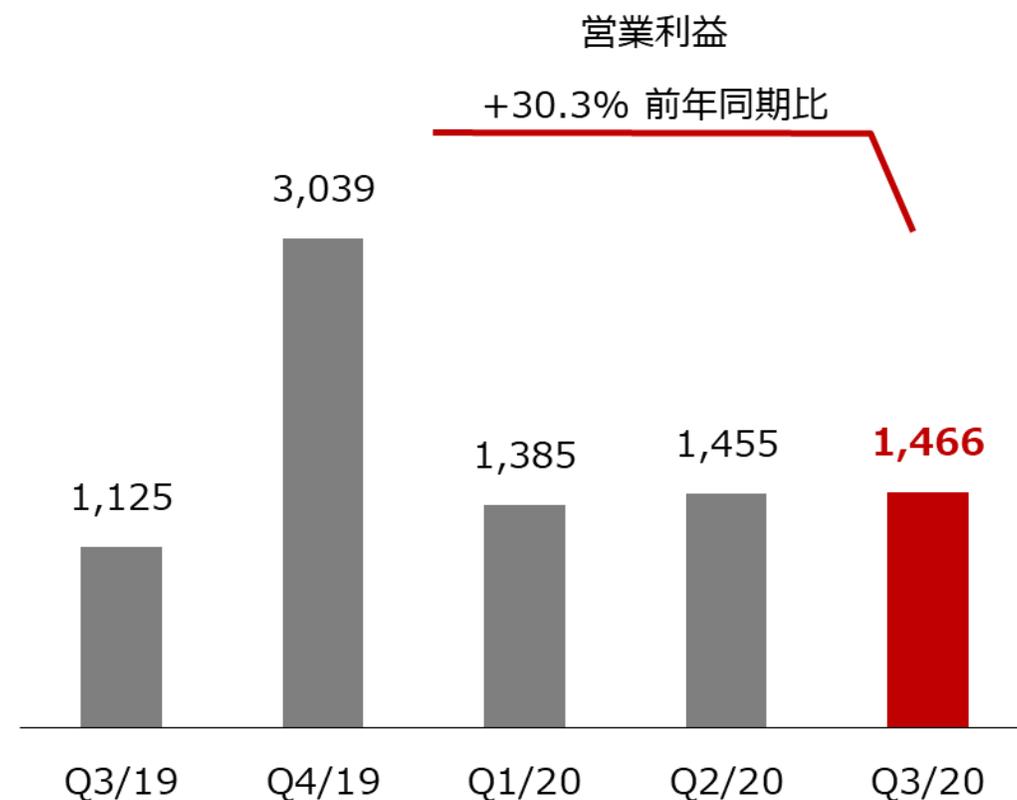
楽天生命 四半期業績推移

- 新契約増、コスト削減、リスクコントロールのための再保険等により営業利益が増加

(単位：百万円)



(単位：百万円)

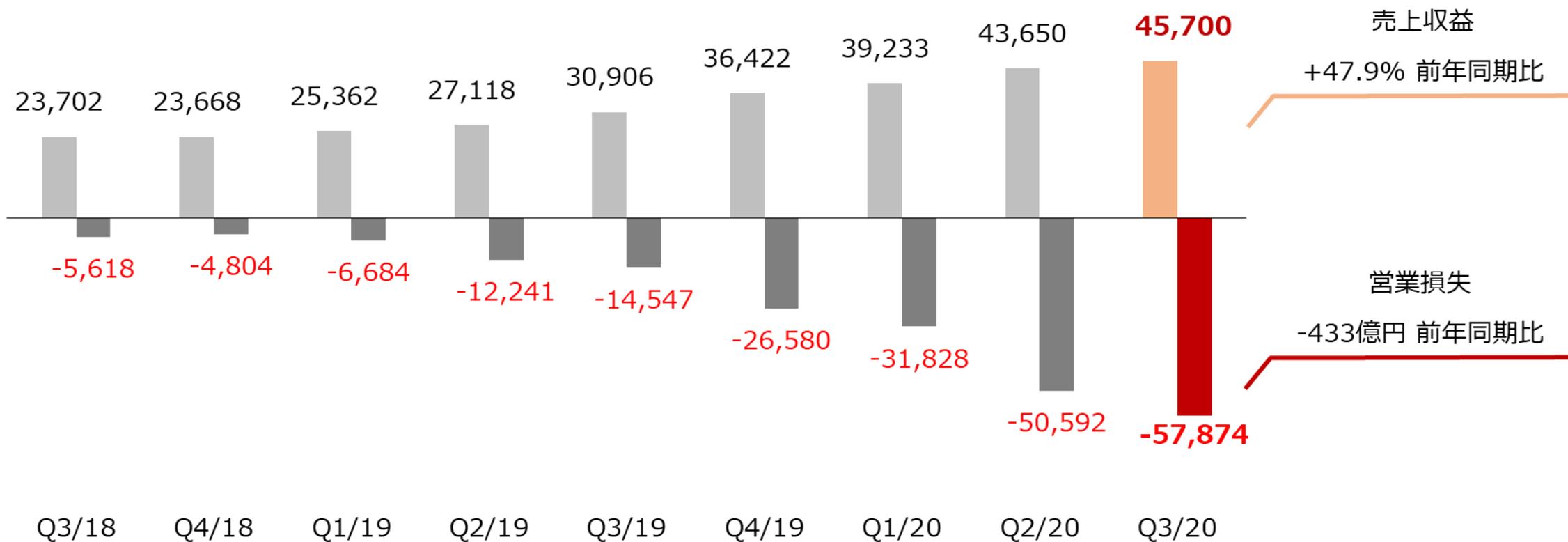


モバイルセグメント

モバイル 四半期業績推移*

- 基地局建設の計画前倒しに伴い、基地局関連コストが増加

(単位：百万円)



* モバイルセグメントは楽天コミュニケーションズ、MNO事業、MVNE/O事業、Rakuten Viber、エナジー事業により構成

モバイル 貸借対照表

(単位：百万円)

IFRS貸借対照表, Balance Sheet (IFRS)	Q3/20
資産, Assets	
有形固定資産, Fixed assets	339,757
無形資産, Intangible assets	52,781
その他の資産, Other assets	184,374
資産合計, Total Assets	576,911
負債及び資本, Liabilities and net assets	
借入金, Borrowings *	209,952
リース債務, Lease liabilities**	91,667
その他の負債, Other liabilities	131,199
負債合計, Total liabilities	432,817
資本合計, Total net assets	144,094
負債及び資本合計, Total liabilities and net assets	576,911

* 主にリースファイナンス及び親会社からの借り入れによる負債が計上されています

** リース債務には、IFRS16による賃借料等の将来に渡る見込債務が計上されています

電波発射済基地局数：7,446 契約締結済基地局数：11,721 (2020年9月末時点)

楽天モバイル 実店舗ネットワーク

2020年10月時点
店舗数

587

九州・沖縄エリア

福岡県：15店舗
佐賀県：2店舗
長崎県：5店舗
熊本県：5店舗
大分県：3店舗
宮崎県：3店舗
鹿児島県：4店舗
沖縄県：9店舗

合計：46店舗

四国エリア

徳島県：2店舗
香川県：3店舗
愛媛県：4店舗
高知県：1店舗

合計：10店舗

中国エリア

鳥取県：2店舗
島根県：2店舗
岡山県：8店舗
広島県：17店舗
山口県：7店舗

合計：36店舗

北陸/甲信越エリア

新潟県：12店舗
富山県：5店舗
石川県：4店舗
福井県：3店舗
山梨県：3店舗
長野県：9店舗

合計：36店舗

北海道/東北エリア

北海道：14店舗
青森県：4店舗
岩手県：3店舗
宮城県：13店舗
秋田県：3店舗
山形県：2店舗
福島県：5店舗

合計：44店舗

関東エリア

茨城県：9店舗
栃木県：3店舗
群馬県：8店舗
埼玉県：31店舗
千葉県：31店舗
東京都：89店舗
神奈川県：42店舗

合計：213店舗

東海エリア

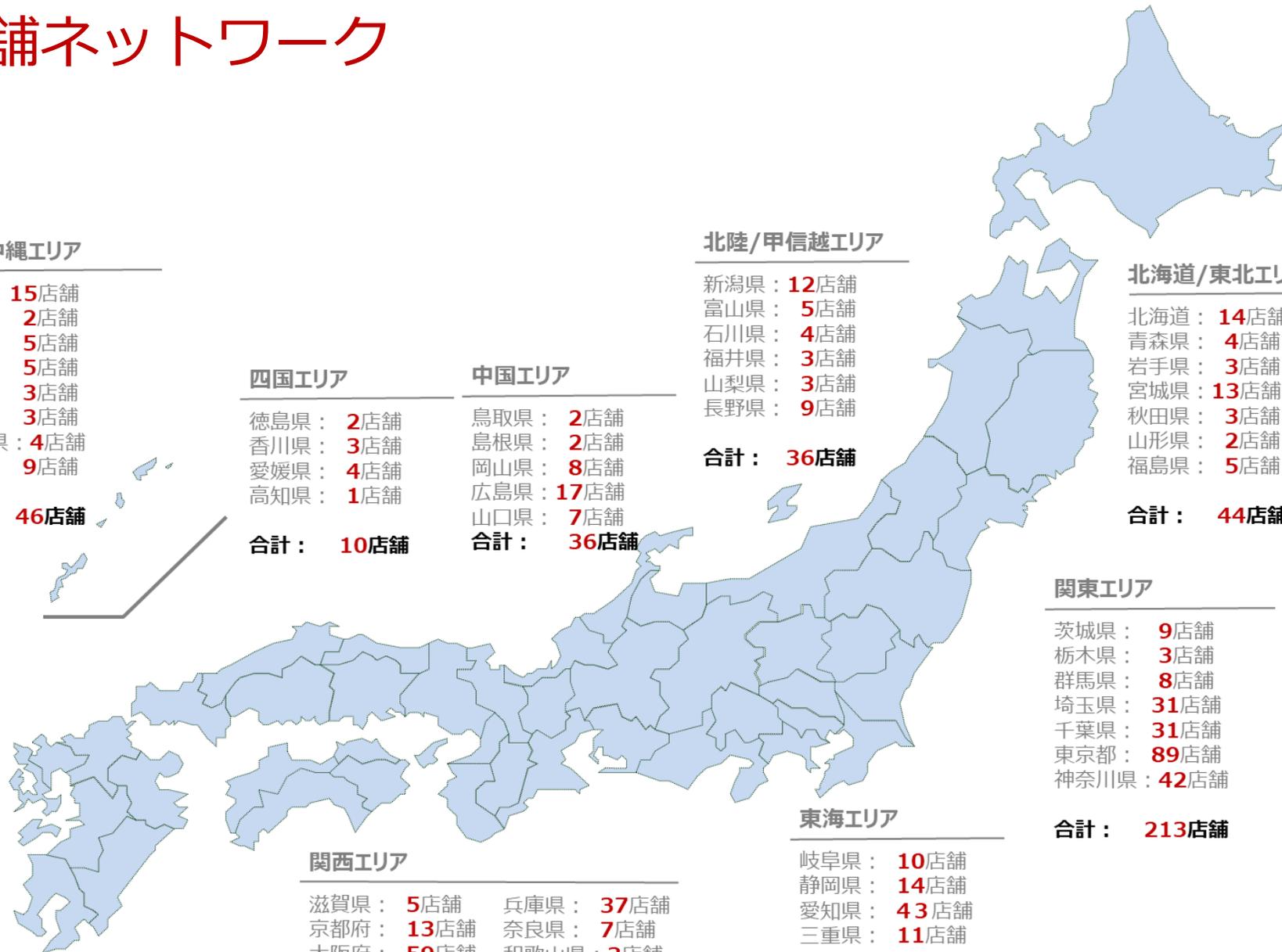
岐阜県：10店舗
静岡県：14店舗
愛知県：43店舗
三重県：11店舗

合計：78店舗

関西エリア

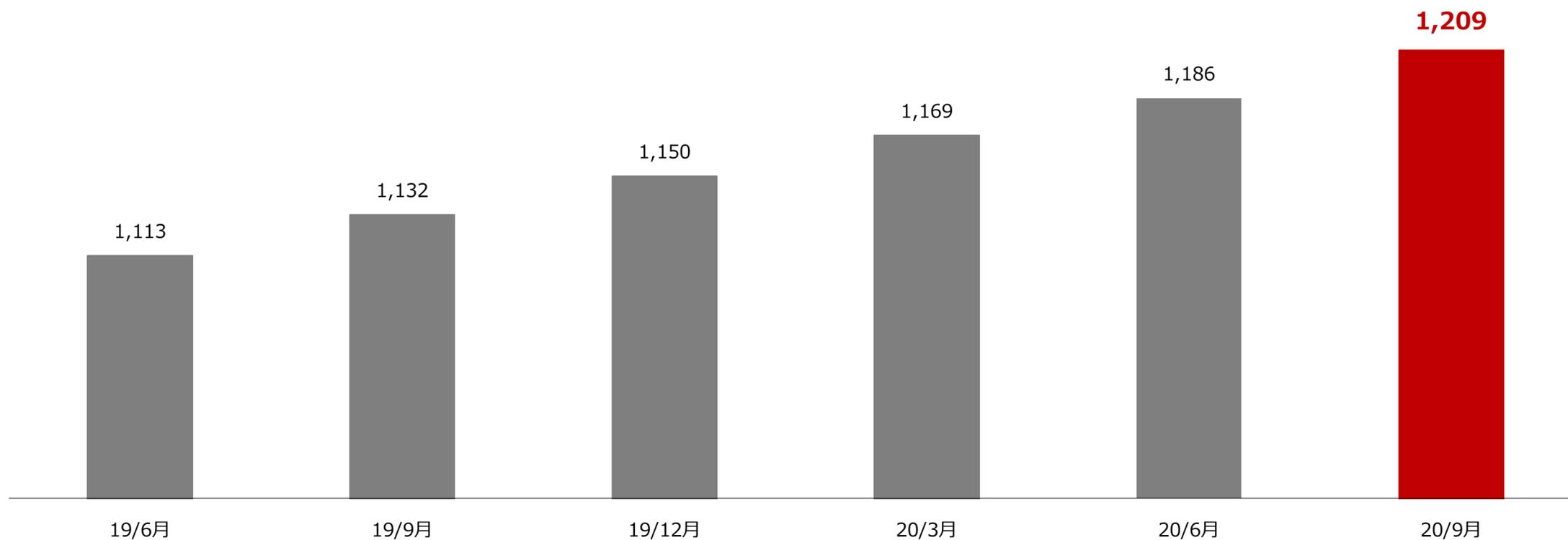
滋賀県：5店舗
京都府：13店舗
大阪府：59店舗
兵庫県：37店舗
奈良県：7店舗
和歌山県：3店舗

合計：124店舗



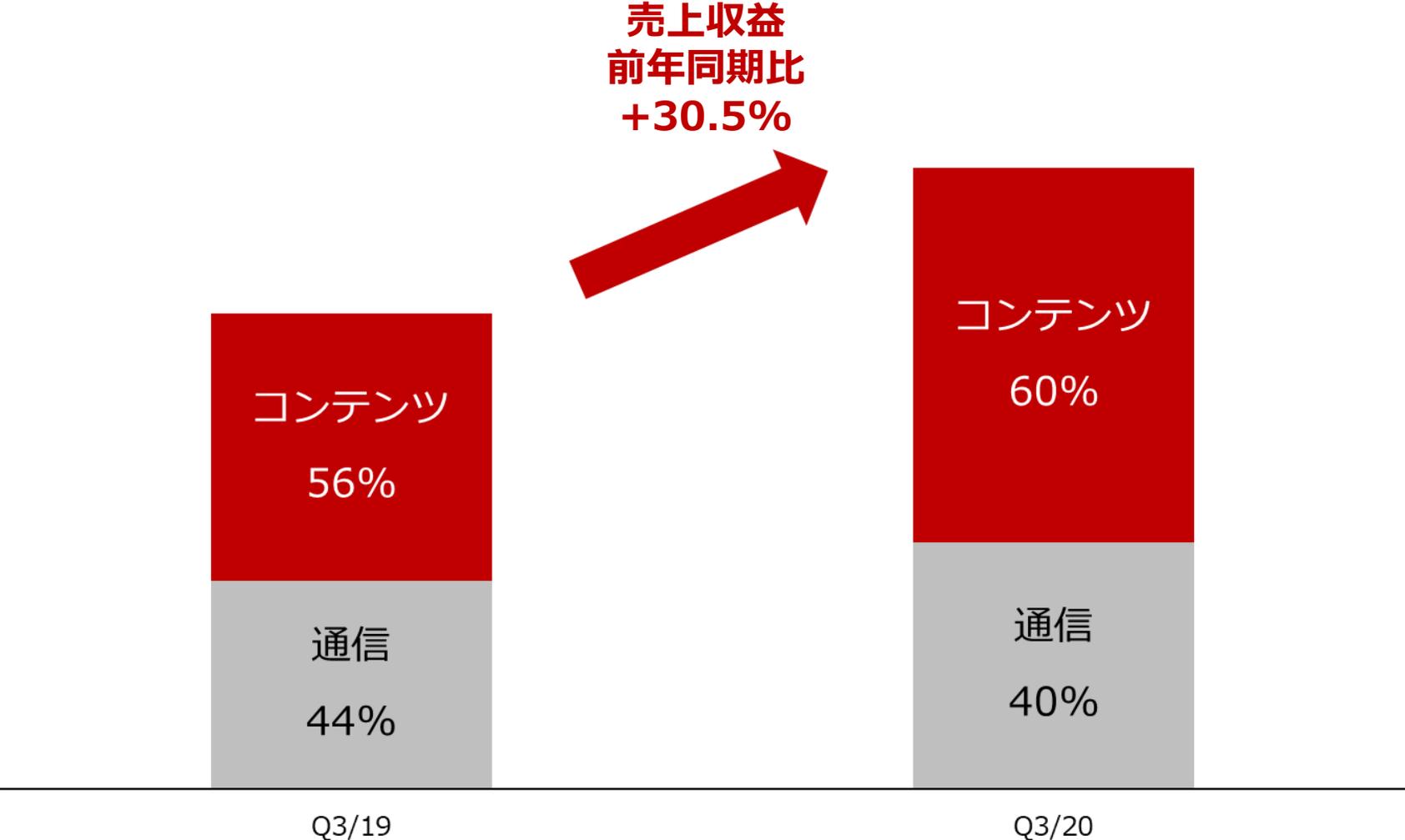
Viber ユニークID数*

(単位：百万ID)



* ユニーク携帯番号登録者数 (解約者を除く)

Viber 売上収益*



* Telco: Viber Out, Viber In, SMS. Content: サービスメッセージ、広告、ステッカー等

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。文中に記載の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

Rakuten